令和２年度
事　業　報　告　書

目　　次

１、情勢と総括・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１頁
２、令和２年度の特徴（重点テーマの振り返り）・・・・・・・・・・　２頁
３、社会福祉法人の運営・管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３頁
４、社会福祉事業及び社会福祉を目的とする事業・・・・・・・・・　６頁
５、介護保険及び障がい福祉サービスに関する事業・・・・・・・・１４頁
６、公益を目的とする事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２０頁
７、収益を目的とする事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２０頁
８、その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２１頁
９、資料編・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２７頁

社会福祉法人　飯豊町社会福祉協議会

1　情勢と総括

令和２年度は、新型コロナウイルス感染症に世界中が震撼させられた一年となり、私ども社協の活動も、中止や延期を余儀なくされ、町民生活に大きな影響を及ぼしました。
第二次飯豊町地域福祉活動計画のスタート年度として、人と人が世代や分野を超えて「繋がる」ことを推進すべく、地域の居場所づくりやふれあいを基調とした活動の展開から一転、コロナ禍によって、人と人との接触を避け、感染を予防する取り組みに方向転換しなければならない状況に戸惑いながらも、行政、関係機関の皆様のご指導とご理解をいただきながら「新しい生活様式」の下、新たな地域社会づくりと日々創意工夫を凝らして事業を進めてきました。

マスクが手に入らない状況下において、通いの場に行けない高齢者や障がい者を支えるべく、手づくりマスクの制作を呼びかける運動を開始したところ、約１ヶ月の間に、1,100 枚を超える寄付が集まり、町内の困窮世帯や社会福祉施設などにとって、大きな助けとなりました。皆様のあたたかい心と支援の輪に触れ、地域共生社会の推進において、町民ボランティアの重要性をあらためて実感いたしました。

また、複合化・複雑化したあらゆる課題を受け止め対応できる包括的な相談支援体制を構築するため、役場庁内の関係課と検討会を設置し、「たらい回しにしない」「断らない」相談の必要性を議論してきた中においては、社協は、地域の福祉関係者とともに多様な組織・関係者をつなぐ「連携・協働」の中核的役割を持ち、福祉総合相談窓口として、地域生活課題の解決に向けた支援を創造していくことが確認されました。

介護部門の事業総括にあたっては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策の強化を最優先に掲げ、「コロナを出さない」を目標に職員一丸となって業務を遂行してきました。デイサービスにおいては、４月に一部受け入れを制限し３密回避に努める一方で感染をおそれて、介護サービスの利用を控える人も見られており、利用者数は、当初の目標を大きく下回り、赤字経営に拍車がかかっている状況です。
悪化の要因としては、コロナの影響に加え、提供体制を確保するための介護人材の確保が過大となっていることは間違いなく、今後は、第８期飯豊町介護保険事業計画で示された要介護認定者推計の減少をとらえ、事業規模の見直しを図るなど、あらゆる変化に柔軟に対応できる体制づくりが真に求められています。

２年度を振り返る中で、感染が怖く外出自粛によって身体機能や認知機能が低下する高齢者等が増えていることが懸念されます。家族の支え、地域の助けに期待する一方で、家庭内不和に関連する相談が多くなっていることも確かであり、総合福祉管理室と地域生活支援室など社協内部による連携の強化についても新たな課題として浮き彫りになってきました。
終わりに、依然収束が見えないコロナ禍においても、多くの皆様より物心両面からご支援をいただいたことに対し、あらためて謝意を表し総括とします。

2　令和２年度の特徴

【新型コロナ感染予防のために「広がる支援の輪」マスク1,100枚が寄せられる】
新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により「マスク」が普通に入手できない事態が5月くらいまで続きました。社協では、家庭で使う予定のないマスクに加え、ご家庭でできるボランティアとして「ハンドメイド（手作り）マスク」の制作を呼びかける運動を開始したところ、おおむね1ヶ月の間に、約1,100枚を超えるマスクが町民から届けられ、善意をつなぐ橋渡しの役割を担いました。

【町内４法人がスクラム、社会福祉法人連絡会が設立】
町内に事業所を有する４つの社会福祉法人でつくる「飯豊町社会福祉法人連絡会」の設立総会が11月12日に開催され、各法人が連携して町民の福祉向上に努めていくことを確認しました。また、会員法人が情報交換しながら、地域のニーズや課題を把握し協力して生活困窮者を支援するための「フードドライブ」など社会貢献事業に取り組むことを事業計画に掲げました。

【「断らない相談」の実現に向け、多機関連携による相談支援体制を確立】
近年、老親が仕事を失ってひきこもる子を支えて困窮したり、病気や心身の障がいなどを抱えて社会から孤立するなどのケースが、社会問題化している中、全国の自治体は、複合化・複雑化した課題を受け止め対応する包括的な相談支援体制とは必ずしもなっていないとして、国は「断らない相談支援」を中核とする包括的支援体制整備を促進しており、社協が軸となって役場庁内各課と検討会を設け、本町の福祉総合相談窓口の位置付け等を整理し、多機関連携による体制づくりを進めました。

【生きづらさを抱える若者への支援に向け、新たな取り組みをスタート】
「飯豊町の若者支援を考える」というテーマを掲げ、社会的なつながりが弱い人に対し、どのような福祉が必要かを教育関係者とともに学ぶ機会をつくりました。家族を含め社会から孤立しないための資源づくり、環境づくりを飯豊町でも進めていこうという機運が、少しずつ高まってきました。

＜重点テーマの振り返り＞

項目別	重点テーマ（目標）	振り返り（評価）
地域福祉事業	▼地域福祉活動計画の普及啓発を通じ、法人内外の連携を強化し、地域共生社会の基盤づくりに貢献します。 ▼社会とのつながりが弱い人たちの社会参加を進めるため、行政や関係機関との協働により、ひきこもり支援などの新たな課題に取り組みます。	□住民主体の支え合いづくりを促進するため”学びの場”と”実践する場”双方の充実を図るための活動を着実に進めました。 □不登校・ひきこもり相談会をはじめて開催するなど、生きづらさを抱える若者をサポートする体制づくりに向けた取り組みが一歩前進しました。
介護事業	▼介護部門の経営の安定を図るとともに、他の事業所では応えきれない需要に対応することで集客力を高めます。 ［介護保険事業の目標値設定］ ・ケアマネジメント　117 人（月平均） ・ホームヘルプ　240 回（月平均） ・地域密着型デイサービス　59%（利用率） ・認知症対応型デイサービス　73%（利用率） ・ショートステイ　69%（利用率）	□新型コロナウィルスの影響によりデイサービスの休業及び利用控え等により利用率は訪問介護を除き減少となりました。 □施設入所ニーズが高まり、居宅サービス事業の経営は緊迫化する中、他事業所が応じにくい利用者の受け入れ体制を強化してきました。 ［介護保険事業の業績］ ・ケアマネジメント　104.1 人（月平均） ・ホームヘルプ　302.3 回（月平均） ・地域密着型デイサービス　63.7%（利用率） ・認知症対応型デイサービス　63.5%（利用率） ・ショートステイ　65.0%（利用率）
その他（運営全般）	▼持続発展する法人運営を目指し、福祉・介護人材の「確保」「育成」「定着」に努めます。	□介護人材の減少が避けられない状況が続いており、営業日数の調整や、事業規模の縮小などを検討せざるを得なくなりました。

3 社会福祉法人の運営・管理 【社会福祉拠点】

（1）理事会（定数：９名以上１１名以内） ５回開催

第２４８回	**令和 ２年 ６月 ５日開催／出席理事（現数９名中）９名、監事２名出席**
報告第 1 号	会長及び常務理事の職務執行状況報告について
議案第 24 号	令和元年度事業報告の承認について
議案第 25 号	令和元年度収支決算の承認について
議案第 26 号	役員候補者の推薦について
議案第 27 号	定時評議員会の招集について
第２４９回	**令和 ２年 ６月２５日開催／出席理事（現数１０名中）１０名、監事２名出席**
議案第 28 号	常務理事の選定について （渡部忠善理事就任）
議案第 29 号	飯豊町緊急生活支援事業の実施に係る令和２年度事業計画の一部変更について
議案第 30 号	令和２年度収支補正予算（第１号）の同意について
議案第 31 号	決議の省略による令和２年度第２回評議員会の開催について
第２５０回	**令和 ２年１０月１３日開催／出席理事（現数１０名中） ９名、監事１名出席**
報告第 1 号	会長及び常務理事の職務執行状況報告について
議案第 32 号	令和２年度収支補正予算（第２号）の同意について
議案第 33 号	令和２年度第３回評議員会の招集について
第２５１回	**令和２年１１月３０日：決議があったものとみなされる日（決議の省略手続き）**
議案第 34 号	職員給与規程の一部改正について 【理事同意数 10 名・監事２名異議なし】
議案第 35 号	臨時職員就業規則の一部改正について【理事同意数 10 名・監事２名異議なし】
第２５２回	**令和３年 ３月２２日開催／出席理事（現数１０名中）８名、監事２名出席**
報告第 1 号	会長及び常務理事の職務執行状況報告について
議案第 36 号	定款の一部変更について
議案第 37 号	職場におけるハラスメントの防止に関する規程の制定について
議案第 38 号	評議員選任・解任委員会運営細則の一部改正について（決議の省略手続き規定）
議案第 39 号	就業規則の一部改正について（年次有給休暇制度の変更等）
議案第 40 号	社会福祉施設人事制度運用規程の一部改正について（65 歳以上昇給停止及び正規要件規定）
議案第 41 号	高年齢者継続雇用規程の一部改正について（臨時職員就業規則との整合性確保）
議案第 42 号	臨時職員就業規則の一部改正について（諸手当の支給を規定）
議案第 43 号	職員の懲戒処分の基準等に関する規程の一部改正について（他規程との整合性確保）
議案第 44 号	職員給与規程の一部改正について（住居手当・寒冷地手当支給要件の見直し）
議案第 45 号	訪問介護ステーション福祉の里めざみ訪問自費介護サービス事業所規程の一部改正について（土日の提供中止）
議案第 46 号	日帰り介護センター福祉の里めざみ指定地域密着型通所介護事業所及び第一号通所事業（飯豊町通所介護相当サービス）運営規程の一部改正について（提供時間変更）
議案第 47 号	日帰り介護センター福祉の里めざみ指定認知症対応型通所介護事業所及び指定介護予防認知症対応型通所介護事業所運営規程の一部改正について（提供時間変更）
議案第 48 号	短期入所生活介護センター福祉の里めざみ指定短期入所生活介護事業所運営規程の一部改正について（滞在費の引き上げ）
議案第 49 号	短期入所生活介護センター福祉の里めざみ指定介護予防短期入所生活介護事業所運営規程の一部改正について（滞在費の引き上げ）
議案第 50 号	短期入所生活介護センター福祉の里めざみ指定障害者短期入所事業所運営規程の一部改正について（滞在費の引き上げ）
議案第 51 号	令和２年度収支補正予算（第３号）の同意について
議案第 52 号	令和３年度事業計画（案）の同意について
議案第 53 号	令和３年度収支予算（案）の同意について
議案第 54 号	役員等賠償責任保険への加入について
議案第 55 号	令和２年度第４回評議員会の招集について

（2）評議員会 （定数：１０名以上１５名以内） ４回開催

第1回《定時評議員会》	**令和２年 ６月２５日開催／出席評議員（現数13名中）11名及び伊藤会長、菅野副会長、須貝監事出席**
議案第 1 号	令和元年度事業報告の承認について
議案第 2 号	令和元年度収支決算の承認について

議案第 3 号	役員の選任について
第２回	**令和２年 ６月３０日：決議があったものとみなされる日（決議の省略手続き）**
議案第 4 号	令和２年度事業計画の一部変更について 【評議員同意数 13 名】
議案第 5 号	令和２年度収支補正予算（第１号）の承認について 【評議員同意数 13 名】
第３回	**令和２年１０月２２日／出席評議員（現数１３名中）12名及び伊藤会長、菅野副会長、渡部事常務理事出席**
議案第 6 号	令和２年度収支補正予算（第２号）の承認について
第４回	**令和３年３月３０日：決議があったものとみなされる日（決議の省略手続き）**
議案第 7 号	定款の一部変更について 【評議員同意数 13 名】
議案第 8 号	令和２年度収支補正予算（第３号）の承認について【評議員同意数 13 名】
議案第 9 号	令和３年度事業計画（案）の承認について 【評議員同意数 13 名】
議案第 10 号	令和３年度収支予算（案）の承認について 【評議員同意数 13 名】

（3）監事監査（定数： ２名）

令和 ２年 ５月２５日	決算定例監査（令和元年度下半期業務執行状況の監査） 監事２名、会長立会（福祉の里めざみ相談室）
令和 ２年１１月２６日	中間定例監査（令和２年度上半期業務執行状況の監査） 監事２名、会長立会（福祉の里めざみ相談室）

（4）その他（法人運営全般・社会福祉施設の管理に関すること）

項 目	内 容
1 地域福祉推進委員会の開催	小地域における福祉活動の推進及び社協活動の円滑を図るため、各集落に地域福祉推進委員を委嘱し、連絡機能の充実と新たな地域課題に関し情報交換を行いました。 （1）委員会開催状況

地 区	開催日	時 間	場 所
①東部地区	６月２４日（水）	午後６時～	東部地区公民館
②中部地区・白椿地区	７月 ３日（金）	午後７時～	町民総合センター
③西部地区	７月 ９日（木）	午後７時～	西部地区公民館
④中津川地区	７月１０日（金）	午後７時～	中津川地区公民館

2 地域福祉を推進するための財源確保

社協会費は普通会費（世帯 1,700 円）、賛助会費（2,000 円以上）となり、地域福祉事業を支える財源としてそれぞれご協力を頂きました。

（1）社会福祉協議会住民会費協力状況（世帯会費１７口）

項 目	29年度	30年度	31（元）年度	2年度
①金額	3,495,200円	3,444,200円	3,411,900円	3,375,800円
②戸数	2,056件	2,026件	2,007件	1,986件

（2）社会福祉協議会賛助会費協力状況

３４個人 ８団体／ １３０,０００円（前年比６,０００円増）

種 類	件 数	金 額
①理事・監事【各 30 口】	11 名	３１,０００円
②評議員 【各 20 口】	12 名	２４,０００円
③歴代正副会長（2 名）、副町長、教育長	4 名	１２,０００円
④関係機関団体、交通安全協会 4 支部、役場管理職会	8 団体	５５,０００円
⑤「笑顔咲く・元快集楽」頒布先（町外希望者）	7 名	８,０００円

（3）社会福祉事業への寄付の状況

３件／ １６１,６４０円 （前年比４１３,１４８円減）

寄附者（団体）名簿（順不同）	
①舟山 忠芳 様（松原） 100,000 円	②鈴木 静夫 様（高 峰）50,000 円
③飯豊町立手ノ子小学校の皆様 11,640 円	

3 基金造成及び資産管理

社会福祉基金をはじめ、それぞれの基金の役割がより適正で明確なものになるよう基金管理に努めてきました。

(1) 社会福祉基金運用状況調　（令和３年３月 31 日現在）

収入項目	収入額	支出項目	支出額
①前年度末基金残高	４３,６０８,１１０円	①当年度処分（取崩額）	０円
②本部会計から繰入(寄附金)	１６１,６４０円	②社会福祉事業区分による会計へ支出（利子等）	
③当年度利子繰入	４,３６０円		０円
合計	４３,７７４,１１０円	合計	０円

差引残額　４３,７７４,１１０円（次年度繰越）

(2) 介護事業財政調整基金運用状況調　（令和３年３月 31 日現在）

収入項目	収入額	支出項目	支出額
①前年度末基金残高	１２６,３５５,１７１円	①当年度処分額（取崩額）	１７,０００,０００円
②本部会計から繰入	１,１６０,０００円（介護予防拠点施設管理費）	②社会福祉事業区分による会計へ支出（利子等）	０円
③当年度利子繰入	６,４８７円		
合計	１２７,５２１,６５８円	合計	１７,０００,０００円

差引残額　１１０,５２１,６５８円（次年度繰越）

(3) 職員資格取得研修等支援基金運用状況調　（令和３年３月 31 日現在）

収入項目	収入額	支出項目	支出額
①前年度末基金残高	６,１５２,４３９円	①当年度処分（取崩額）	０円
②当年度他会計からの繰入	０円	②社会福祉事業区分による会計へ支出（利子等）	（資格取得助成、研修費用）
③当年度利子繰入	６１５円		０円
合計	６,１５３,０５４円	合計	０円

差引残額　６,１５３,０５４円（次年度繰越）

(4) ボランティア活動振興基金運用状況調（令和３年３月 31 日現在）　残高０円

(5) 固定資産取得積立基金運用状況調（令和３年３月 31 日現在）　残高０円

4 社協・介護サービス経営改善計画の推進

介護事業所ごとに毎月目標数値を掲げ、達成状況について全体で共有していくために、主査以上による経営会議を設け、介護部門の経営改善を進めてきました。

(1) 経営目標

①競争に負けない事業展開　②経営を意識した事業展開　③良い人材の育成

(2) 具体的な会議

①施設運営会議（１２回）※室長以上　②経営会議（１２回）※主査以上

5 在宅複合型老人福祉施設の運営

社会福祉協議会が運営する介護事業所として、その特性に沿った「地域から選ばれる事業所」を継続していくために、４事業所が質の高い、心地よい、かつ安心してご利用いただけるようサービスの提供に努めました。

(1) 資格取得者の状況及び介護職員の配置状況（令和３年３月 31 日現在）

資格者	有資格者数
社会福祉士	２名
精神保健福祉士	１名
介護支援専門員	９名
介護福祉士	２６名
看護師	３名
社会福祉主事	１５名

事業所別	正規	非正規 常勤	非正規 非常勤	合計（前年比）
居宅介護支援	3	0	0	3（－1）
訪問介護	1	2	2	5（＋1）
通所介護	6	0	13	19（－1）
短期入所介護	5	3	3	11（－3）
合計	15（0）	5（－1）	18（－3）	38（－4）

※施設長、施設長補佐、看護職員及び調理職員を除く

(2) 施設の年間行事等

月別	行事内容	月別	行事内容
8月	春季防災訓練（8月27日）	1月	だんご下げ（14日）
12月	クリスマス会（25日）	2月	節分（2日）
	お楽しみビンゴ大会（31日）	3月	ひな祭り（3日）

(3) 固定資産取得の内容

事業名	時期	金額(円)	備考
①パソコン購入　（１台）	9月	146,080円	県交付金（全額）
②空気清浄機購入（３台）	10月	179,300円/台	県交付金（全額）
③ガスレンジ更新（１台）	11月	327,800円	
④空気清浄機購入（１台）	12月	132,000円	県交付金（全額）
⑤交流室・相談室堺間仕切り工事	12月	2,966,700円	県交付金（1,242千円）
⑥自動火災報知設備等改修工事	3月	4,895,000円	町補助金（全額）

(4) 職員専門委員会

①研修委員会（２回）　②リスクマネジメント委員会（６回）

③防災対策・安全点検委員会（２回）　④サービス向上委員会（５回）

⑤衛生委員会（２回）

(5) 新型コロナウイルスの感染防止対策

【職　員】

①出勤前に自宅にて検温を実施し、37.5℃以上の場合は出勤停止とする。

②出勤時や訪問等から戻った際は速やかにうがい及び手指消毒を徹底する。

③感染拡大地域への往来は自粛する。

【施　設】

①更衣室、トイレ、ドアノブ等をこまめに消毒する。

②利用者の間隔を空け、机に透明なパーテーションを設置し飛沫を防止する。

③室内の温度や湿度を調整しながら常に換気を行う。

④利用者への面会を制限し、相談等で来所された方には、手指消毒と検温を行い、来訪者記録簿に記入を求める。

6 ホームページ管理・更新

社会福祉法人制度改革に対応した法人情報開示のために、ホームページをリニューアルし、また、インターネットを活用した外部への積極的な情報発信に努めるためフェイスブックとの連携も図りました。

4 社会福祉事業及び社会福祉を目的とする事業【社会福祉拠点】

（1）住民の福祉と地域福祉の推進に関する事業（法人運営事業）所管：総合福祉管理室

項目	内容

1 心配ごと相談事業

［定例相談］
毎月第３金曜日
（午後1時～3時まで）
場　所：社協相談室

毎月１回、定例の相談日を設け、住民の日常生活における諸種の心配ごとや生活上のあらゆる相談に応じ、生活課題の解決を支援してきました。なお、定例相談以外でも常時、地域包括支援センターや自立相談支援事業等と連携を図り、適切なアドバイスや専門機関へつなぐ役割を行いました。

(1) 相談の状況（過去４年比較）

相談件数	29年度	30年度	31（元）年度	2年度
①社協窓口来所	１１件	１０件	１６件	１５件
うち定例（一般）相談	０件	２件	３件	４件
②電話相談	２件	４件	３件	３件
合　計	１３件	１６件	１９件	１８件

(2) 定例相談回数　１２回（一般相談）

(3) 相談内容（１回の相談につき主要な項目のみ）

種別	生計	負債	近所	離婚	財産	介護	その他	合計
全件数	5	2	3	3	0	1	4	18

(4) 山形県地域包括ケア総合推進センター移動法律相談　２件（９月１０日／社協相談室）

2 生活福祉資金貸付事業
（山形県社会福祉協議会より一部事務受託）

新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、休業等による収入の減少があり、緊急かつ一時的な生計維持のための貸付を必要とする世帯を対象とした「緊急小口資金」の特例貸付に関する相談が目立つものの、当該資金の貸付件数は４件と他市町村と比較して少ない状況です。コロナの影響を受けたとみなされないケースについては、通常の要件貸付で対応したり、仕事に就いていないケースについては、就労に向けた「つなぎ資金」として総合支援資金を通じ支援を行いました。

(1) 貸付状況　（過去４年比較）　※新型コロナ関連施策

年度		29年度	30年度	31（元）年度	2年度
相談件数※電話含		２１件	３２件	２６件	３４件
貸付件数（申請）		3件（3件）	2件（2件）	1件（1件）	12件（13件）
通常	教育支援資金	０件	２件	１件	５件
	福祉資金（緊急口除）	３件	０件	０件	１件
	緊急小口資金	０件	０件	０件	１件

	総合支援資金	０件	０件	０件	１件
コロナ特例	緊急小口資金特例貸付※	―	―	―	４件
	総合支援資金特例貸付※	―	―	―	０件
年度内貸付決定額		1,581千円	7,240千円	5,156千円	11,300千円

(2) 年度内貸付決定世帯の状況（低所得世帯　１１件）

(3) 借受件数　５２件（令和3年3月31日現在）

①貸付期間中　１４件　②償還期間中　３７件　③償還猶予期間中　１件

3　臨時特例つなぎ資金貸付事業
（山形県社会福祉協議会より一部事務受託）

離職者を支援するための公的給付制度等を申請している住居のない離職者に対して、生活費を迅速に貸付けする制度については、貸付実績はありませんでした。

4 福祉更生資金貸付事業

貸付限度額：５万円以内
貸付期間：６月以内
（無利子・保証人不要）

令和２年度からは、貸付限度額の増額及び貸付期間延長など要件の一部が見直され、利用件数が増えている状況ですが、新型コロナウィルス感染症の影響により貸付を受ける世帯については、緊急小口資金特例貸付を活用しているため、コロナの影響により件数が伸びているわけではなく、実際は、生活保護開始までのつなぎ資金としての利用が目立っています。

(1) 貸付状況（過去４年比較）

年　度	29年度	30年度	31（元）年度	２年度
①貸付件数	１０件	１３件	１４件	１８件
内単身高齢者	３件	５件	６件	３件
内ひとり親世帯	１件	２件	１件	４件
②年度内貸付決定金額	344,000円	358,000円	478,000円	654,000円

(2) 不良債権の状況（令和３年３月31日現在）

１年以上償還が滞っているケース	件数	金　額	長期滞納者への対応
	９件	４０７,０００円	支払督促及び個別指導（随時）

(3) 資金管理状況

①年度内不能欠損額　１００,０００円

②令和　２年３月３１日現在の資金原資額　１,６６０,０３４円（前期繰越金）

③令和　３年３月３１日現在の資金原資額　１,５６０,０３４円（②－①）

④貸出金総額(令和３年３月31日現在)　４９９,１００円（前年比７,０００円増）

⑤令和　３年３月３１日現在の預金残高　１,０６０,９３４円　（③－④）

5 フードサポート事業
（山形県生活困窮者等食料品提供活動支援事業費補助金）

「生活費がない」「食べるものがない」等の困窮状態にある方に対し、緊急支援として食べ物の無償提供を行うフードバンクについて、年間利用件数は過去最多となり、継続的に提供するケースが多く見られました。

２年度は、新型コロナウイルス等で苦しんでいる世帯に食料品を提供し、生活を支える体制を整備するため、県の補助金を受け、平日の時間帯に来所が難しい子育て世帯等を対象に宅配型による提供を行いました。

(1) 食料品の寄付の受け入れ状況　１４件（前年比１件増）

寄付者	寄付のあった日	食品の種類
手塚　正樹　様（萩　生）	５月２６日	菓子粉（1）
飯　豊　町　様	６月　１日	乾麺（22）・缶詰（44）等
舟山　清一　様（手ノ子）	６月２３日	精米30kg、うどん、切り餅
井上　慶次　様（　椿　）	７月２１日	精米30kg
伊藤　榮造　（高　峰）	８月２６日	精米30kg
菅野　誠一　様（　中　）	９月１８日	お茶（2）
町身体障がい者福祉協会様	１０月２０日	缶詰（5）
齋藤　隆　（長井市）	１１月　２日	防災食セット（10）
加藤　富夫　様（添　川）	１１月１７日	精米30kg
関　敏美　様（黒　沢）	１２月１０日	精米60kg
匿名希望　様（手ノ子）	１２月１６日	精米30kg
匿名希望　様（手ノ子）	１２月２５日	のりセット（4）
伊藤　佐市　様（　椿　）	１月２５日	佃煮詰合せ（6）・麩（2）等
（社福）いいで福祉会様	３月２９日	冷麦（1箱）・レトルト食品（10箱）・おかゆ（5箱）等

(2) 食料品提供の利用状況

年　度	29年度※10.1以降	30年度	31（元）年度	２年度
①延利用件数	８件	１９件	１９件	５７件
内宅配提供	―	―	―	１２件
②年度内利用世帯数	７件	１０件	１３件	１８件
単身高齢者世帯	２件	２件	４件	４件
単身世帯（高齢者以外）	１件	３件	２件	３件
その他の世帯	４件	５件	７件	１９件

(3) 食料品の新たな寄付者を開拓する事業（補助対象）

①フードドライブ（食料寄付募集）呼びかけ用チラシ作成及び配置

②社会福祉法人連絡会の会員施設に食料品の回収ＢＯＸを新たに設置

6 緊急生活支援事業
新規（飯豊町補助）

新型コロナウイルス感染症の影響等を受けて、収入の減少や失業等により生活が困窮し、緊急的に日常生活の維持が困難となっている世帯に対して、生活支援のための相談に応じ、あわせて町からの補助を受け飯豊町商工会が発行する商品券を給付することにより総合的な生活支援を行いました。

【実施期間】令和２年７月１日～令和３年３月３１日

【商品券給付件数】　１７件

地区別	単身高齢者世帯	単独世帯（高齢者以外）	核家族世帯※	その他世帯	計
	30,000円		50,000円		
中部地区	1	1	0	4	６件
白椿地区	2	0	1	1	４件
東部地区	1	0	1	2	４件
西部地区	1	0	1	1	３件
中津川地区	0	0	0	0	０件
合　計	５件	１件	３件	８件	１７件

※夫婦のみの世帯、夫婦と未婚の子のみの世帯、ひとり親と未婚の子のみの世帯の３種

【参考】対象世帯が利用する事業の内訳※重複利用あり

山形県が受託して実施する自立相談支援事業の利用世帯	８件
福祉更生資金による貸付を受けた世帯	８件
山形県社協から受託して実施する緊急小口資金（特例）又は総合支援資金（特例）の貸付を受けた世帯	４件
住宅確保給付金の支給を受けた世帯	１件
フードサポート事業による食料品提供を受けた世帯	１４件

7 災害救済金交付事業

２年度は、救済事業の対象となるような罹災はなく経過しました。

8 レクリエーション用具貸出事業【地域における公益的な取組み】

法人が貸出用として所有しているレクリエーション用具の貸し出しを通じて、サロンや町内グループにおける交流活動や余暇活動を支援してきました。

①貸出件数：　１０件（前年比　９件減）

9 車椅子貸出事業
【地域における公益的な取組み】

障がい者の外出支援や病気等によって一時的に車椅子が必要となった世帯に対し無料で貸し出しを行いました。令和２年度からは、貸出期間が３ヶ月から１ヶ月に短縮されるなど要件の一部見直しが図られ、貸出件数が減少しました。

①貸出件数：　１２件（前年比　２０件減）

10 集落ワークショップの開催【12年次】

モデル集落において、地域福祉推進委員、民生委員等の協力を得て生活課題に関する話し合いを行い、地元の資源や高齢者の知識や経験を活かしながら、集落の魅力を活かしたアクションプランづくりを進めてきました。

集　落	第１回	第２回
①町西地区（萩　生）	１１月２５日	１２月１６日

11 中学校同級会支援事業

若者の地元への定住及び出会いの場を築いていくための一助として中学校同級会の定期開催を勧奨し、若い世代に対して郷土への愛着や理解づくりを行いました。

①新成人への情報提供

成人式実行委員会（平成２６年度卒業生）に対し、成人式以降の定期同級会の開催を呼びかけ

②中学校卒業生に同級会開催予告メッセージ交付（飯豊中：５７名）

12 福祉に関する人材育成及び情報支援

福祉に関する資格取得のための助言及び山形県福祉人材センターが発行する求人情報の窓口閲覧を行い、介護の仕事について情報提供を行いました。

13 ボランティア活動への支援

活動時の万が一のケガに備え、ボランティア活動保険の普及を行い、町社協にボランティア登録している団体等に保険料の半額助成を行いました。また、互いに支え合う地域づくりに向けた人づくりとして、手づくりマスク等の寄付の呼びかけを行い「

誰もが担い手」のすそ野を広げる取り組みを行いました。

(1) ボランティア保険取扱件数

３５団体／３５５名※全て基本タイプＡプランに加入

(2) 手作りマスクでいいでプロジェクト（5月）

①不要な（市販品）マスクの寄付	５件
②ハンドメイド（手作り）マスクの寄付	１２件
③手作りマスク制作のための材料寄付	４件

14 次世代育成・住民の福祉教育の推進

児童等を主体とした体験学習等への協力を行い、福祉のこころを育むための「学び」の大切さを地域の子供達に伝える活動を計画しましたが、職場体験を含め、新型コロナウィルス感染防止の観点から受け入れを行いませんでした。

15 防災・災害時の支え合い活動の構築

住民の防災意識の向上と災害時の支え合いについての「関心」を高め、いざという時にきちんと「互いに支え合い」「行動できる」ための取り組みを進めてきました。

16 成年後見に関する相談と法人後見事業の検討

置賜定住自立圏構想に係る成年後見支援の体制整備について、本町における成年後見制度の利用促進を目的として、飯豊町地域包括支援センターと一体的に研修を行いました。

①制度に関する研修会　（１１月５日／ケース検討）

②後見に関する相談調整（申し立てに関する助言：１件）

③親族後見人への支援　（裁判所への提出書類の作成補助：１件）

17 いのちのバトン設置普及事業
（飯豊町一部委託）

前年度に引き続き、単身高齢者世帯を主な対象として、「気になる世帯」を特定し、行政及び民生委員との連携により、普及設置又は情報更新を進めてきました。

【情報キット管理状況】

購入数	設置件数	撤去件数	現在設置数	(未設置)残数
600	31	76	320	204
平成 28 年度	令和２年度内		令和３年３月末日	

①情報シートの更新についても担当民生委員が必要に応じて随時対応を図ってきました。

②死亡または転出した世帯のバトンは、回収処分を行うとともに現設置世帯の台帳整理を随時行いました。

18 単身高齢者等呼び出し装置設置事業 新規
（飯豊町補助）

難聴高齢者に対し音と光で訪問を知らせる機器を貸与する事業について、民生委員の協力をいただきながら設置しました。

(1) 実施経過

①単身高齢者等呼び出し装置貸与事業実施要綱の制定　(8 月)

②対象世帯調査及び申請受付　(10 月及び 11 月)

③機器・物品発注・納品　(11 月)

④貸与決定及び対象世帯取付作業(11 月～12 月)

(2) 設置件数　　３８件

地区別	単身高齢者世帯	高齢者のみ世帯	その他(日中単身等)	計
中部地区	８件	５件	２件	１５件
白椿地区	２件	１件	２件	５件
東部地区	２件	１件	１件	４件
西部地区	７件	３件	３件	１３件
中津川地区	１件	０件	０件	１件
合　計	２０件	１０件	８件	３８件

19 地域共生社会推進事業【多分野連携による相談支援体制整備事業】
（飯豊町受託） 新規

地域で子供や高齢者・障がい者など全ての住民が安心して暮らせるため、一元的な相談窓口を設置し、行政や多職種関係機関の連携を図ることで、複合的な課題に対し重層的な支援が行える体制づくりを整備する事業について、町からの委託を受けて実施しました。

(1) 「すきまのない」一元的な相談体制の整備

①多様化、複雑化する福祉ニーズを関係機関の連携により包括的にサポートする体制の構築を目的とする「飯豊町ライフステージ・サポート体制推進会議」を設置し、複合的な問題解決のための研究及び仕組みづくりを行いました。（10 月 1 日/2 月 1 日/3 月 16 日）

②山形市における包括的支援体制構築に関する視察研修（11 月 20 日）

(2) 多分野にまたがる課題へのバックアップ支援機能の強化

①福祉総合相談窓口のチラシ発行。

②多機関連携のための相談支援機関必携ハンドブックの制作。

③適切なつなぎを効果的に実施するため、関係機関からの紹介、連絡ツールとして、Joint・sheet（ジョイント・シート）を作成。

(3) かかわり続ける伴走型支援（相談者への支援の実施）

20 安心生きがい訪問事業（飯豊町受託）

［対象者］概ね65歳以上で介護保険等のサービス給付を受けてない高齢者等
［単価］月額 11,680 円／件

日常的に社会生活に適応が困難とされる高齢者に対し、定期的に指導員（訪問介護員）を派遣し、健康観察及び暮らしに関する異変の察知等の支援を行いました。なお、一利用者につき原則、月２回（２週間に１回）の訪問とし、訪問が組まれていない週は「お元気コール」を提供し見守り機能の強化を図りました。

□利用状況／業績：※詳細の実績数値については資料編参照

①年間延利用者数	３７６人（前年比２０人増）	
②収入額	４,３９１千円（前年比２３３千円増）	
③月平均利用人数	見込／　３２人	実績／　３１.３人

21生活事故防止・暮らしの安心・安全のための啓発活動

交通事故や雪害事故防止に向けた啓発活動を関係する福祉団体やヘルパー訪問世帯、その他要援護世帯に対して情報を発信し注意喚起しました。

22 おしどり金婚さん記念品贈呈事業

山形新聞社が主催する「おしどり金婚さん顕彰事業」の趣旨に賛同し、令和元年度に金婚式を迎えられたご夫婦に対し記念品を贈呈し祝福しました。

①該当夫婦：１５組　　②贈呈式：１０月１６日（町民総合センターあ～す）

23 第 2 次地域福祉活動計画の推進及び進行管理
（5 年次：初年度）

「第２次飯豊町地域福祉計画・地域福祉活動計画（期間:令和 2 年 4 月から 5 年間）」は、前回、飯豊町が策定してきた地域福祉計画と、当会が策定してきた地域福祉活動計画を一体化した計画です。地域住民が主体となり、行政、町社協、関係機関等が連携し、住民が抱える一つひとつの生活課題を解決していくことにより、地域共生社会の実現を目指すための指針が示されており、地域福祉事業全般について本計画に基づいて実践してきました。

地域住民等への普及推進	地域福祉推進委員への計画書配布 広報「しあわせ」「ホームページ」への掲載
関係機関団体等への普及、推進	民生委員児童委員、町内社会福祉法人、関係機関等へ計画書を配布し、既存の会合の場で説明会を実施

（３）福祉サービス利用援助事業　　所管:総合福祉管理室

1 福祉サービス利用援助事業（山形県社会福祉協議会受託）

基幹的社協／
専門員・生活支援員
（各１名配置）

権利擁護分野のケースワークにおける中心的な事業として、社会保障制度へのつなぎ役、さらには成年後見制度を補完するという役割を果たしてきました。

権利擁護ニーズが増えている中で、成年後見制度の利用が望ましい現契約者を移行していくための受け皿や体制づくりが課題となっています。

(1) 援助の状況

①利用に関する相談件数	８６件（前年比３件減）
②延べ支援回数	年間６０回提供　（前年同数）

(2) 利用者の状況（過去４年比較）

年　度		29年度	30 年度	31（元）年度	2 年度
利用実人数（3月31日現在）		７件	５件	５件	５件
年度内	内新規契約者	２件	０件	０件	０件
	内成年後見移行者	０件	０件	０件	０件
	内契約解除者（上記除く）	１件	２件	０件	０件
態様	認知症高齢者	３件	１件	１件	１件
	知的障がい者	３件	３件	３件	３件
	精神障がい者	１件	１件	１件	１件

（４）共同募金配分金事業　　所管：総合福祉管理室

■配分区分１－令和元年度共同募金による市町村配分事業－

項　　目	内　　容
1 単身高齢者のための会食サービス事業 【老人福祉活動費】	要介護状態にない概ね７５歳以上の単身高齢者を対象に、ふれあいの場の提供を通じて、孤立感の解消に繋げていくための会食会をボランティアの協力を得て実施しました。 （1）実施状況 ①実施回数：９回（前年比２回減） ※新型コロナウイルス感染症予防対策のため４月、５月は活動自粛 ②延利用者数　：７３名（前年比７２名減） ③会食サービス事業に係る情報交換会（７月１３日／２月９日） （2）ボランティアの協力状況 町婦人会（９月）
2 ふれあいグラウンドゴルフ大会開催事業 【老人福祉活動費】	高齢者の健康づくりを推進し、地元の民間福祉活動をみんなで応援していくためにチャリティーイベントとして第11回大会を競技団体の協力を得て実施しました。 ①期日：１０月６日（黒沢スワンパーク）②参加者：６２名（前回より２名増） ③共催・競技主管団体：町老人クラブ連合会・町グラウンドゴルフ協会
3 認知症カフェ開催事業	新型コロナウィルス感染予防の観点から、年度内の取り組みを中止いたしました。次年度から安全に開催できるように再開準備を行いました。
4 在宅介護者の集い開催事業【老人福祉活動費】	在宅において配偶者や親の介護をしている方々同士の情報交換を行いながら「仲間づくり」と「息抜き」をしてもらう場として開催しました。 ①期日：１２月　５日（いいで旅館）　②参加者：２１名
5 子育てサロン活動育成支援事業 【児童・青少年福祉活動費】	町内の母親たちが主体となり自主的に活動を続けている育児サークルに対し活動支援を行いました。 ①キッズワールド　（１５年目）　　②年間活動回数：３回
6 福祉の心推進事業 【児童・青少年福祉活動費】	祖父母に対する日頃の想いや感謝の気持ちを絵手紙に込め、敬老の日に贈ることにより、小学生に豊かな人権感覚を身に付けてもらうことを目的とした「第 10 回おじいちゃん、おばあちゃんへの絵手紙コンテスト」を町老連とともに主催しました。 ①募集対象：飯豊町内小学校に在学する児童 ②募集期間：７月２６日～　８月２５日まで ③応募総数：２５８編(低学年１３８編・高学年１２０編) ④審査委員会：令和２年９月３日（審査委員１０名） 最優秀賞（低・高学年各１編）・優秀賞（低・高学年各２編）ほか決定 ⑤後援団体：飯豊町／飯豊町教育委員会／飯豊町民生委員児童委員協議会／飯豊町ＰＴＡ連絡協議会
7 小地域見守り活動支援事業 【福祉育成援助活動費】	主に地域住民が抱える様々な「生活課題」を専門機関に橋渡しする役割等を担う地域福祉推進委員に対して、福祉活動を効果的に推進することができるよう日常的に連携を深め、気になる世帯の早期把握や住民同士のつながり構築に向けてご協力いただきました。 ①地域福祉推進委員　　町内：６９名
8 社協だより「しあわせ」の発行 【福祉育成援助活動費】	住民の福祉への関心を高めるための情報を掲載した機関誌を年２回発行しました。また、地元企業等から広告協賛をいただきながら紙面の充実に努めました。 （1）発行部数　　①第１２９号　（８月１３日発行）：２，４００部 ②第１３０号　（２月１８日発行）：２，４００部 （2）広告協賛　　①協賛件数　　１８社（10千円広告：10枠　／5千円広告：8枠）
9 地域共生型ふれあいいきいきサロン活動育成支援事業 【福祉育成援助活動費】	社協が支援する「ふれあい・いきいきサロン」は、新型コロナウィルス感染症の影響により、４．５月は、活動自粛しているところが多く、回数は、前年度より少なくなりました。感染予防に関する助言及び再開のために必要な情報提供などを行い安全に活動できるような支援を心掛けてきました。 本会による支援として、活動費の助成に加え、出前講座等の講師の調整、レクリエーション用具の貸出し、また、サロン運営をリードする人材をフォローし、既存サロンの更なる活動の発展を支えています。 （1）町社協が支援する高齢者サロンの活動状況

団体名（継続年数）	年間回数	団体名（継続年数）	年間回数
①東山あけぼの会　（１８）	３７	②下椿いきいきクラブ（１８）	１３
③小原ほのぼの会　（１８）	１０	④椿第一いきいきサロン（１７）	１２
⑤荻いきいきクラブ　（１７）	４７	⑥高野寺分いきいきクラブ（１５）	４８
⑦向原いきいきクラブ（１４）	５６	⑧沖いきいきクラブ　（１０）	７
⑨吉長いきいきサロン　（９）	８	⑩坪沼いきいきサロン　（９）	３８
⑪大旦いきいきサロン　（８）	７	⑫中郷さくら会　（８）	０
⑬辻いきいきクラブ　（７）	４６	⑭上郷いきいきクラブ　（７）	７
⑮中洞いきいきクラブ　（７）	４９	⑯ゆいの里たかみねサロン（６）	３４
⑰中ノ目北いきいきクラブ　（３）	４０		

（2）ふれあい・いきいきサロン運営担当者経験交流会“広げようサロンの輪サミット”の開催
①開催日：１１月２５日／いいで旅館　（参加者１６名）

10 町内福祉団体が行う福祉活動への助成	地域福祉の推進を図るために福祉関係団体が行う活動に対し助成を行いました。 ①老人クラブが行う地域支え合い事業　（飯豊町老人クラブ連合会） ②身体障がい者機能回復訓練事業　（飯豊町身体障がい者福祉協会） ③ＮＰＯが行う育児サポート事業（特定非営利活動法人ほっと）

■配分区分２－令和元年度共同募金による地域福祉・在宅福祉事業－

項　　目	内　　容
1 社会的なつながりが弱い人への参加支援 新規	ひきこもり、孤立、困窮、障がいなどの問題を抱える社会とのつながりが弱い方が、地域住民や社協等とつながり、少しずつ社会参加が実現できるように支援していくための基盤づくりに関係機関と連携して取り組みました。 （１）社協建物内のフリースペースを使った繋がりづくり ①社会的なつながりが弱い人への居場所提供及び就労支援　２名 ②社会的なつながりが弱い人同士の交流（コロナのため中止） （２）不登校・ひきこもりに関する支援 ①生きづらさを抱える若者の支援を考える研修会 期　日 令和２年１１月１３日/場所　町民総合センター「あ～す」 講　師 クローバーの会@やまがた　代表　樋口愛子氏 参加者 社協役員・評議員、民生委員、人権擁護委員、町職員７２名 ②不登校・ひきこもり相談会 期　日 令和３年　２月　６日/場所　社会福祉協議会相談室 講　師 クローバーの会@やまがた　代表　樋口愛子氏 対　象 不登校状態にある子の親御さん　　３名

■配分区分３－令和２年度地域歳末たすけあい配分事業－

項　　目	内　　容
1 経済的支援を必要とする世帯への商品券進呈事業【在宅配分】	生活が困窮していると認められる世帯の暮らしを支援するために民生委員と連携し、町商工会が発行する商品券をお届けしました。 ※配分審査委員会（１２月１７日）／民生委員による戸別配分（１２月２５日） 〔配分世帯〕全７７件　（前年比９件減）

①継続的支援が必要な世帯	５８件	９,０００円相当の商品券
②生活保護に準ずる世帯	１４件	１２,０００円相当の商品券
③民生委員が必要と認める世帯 【一時的に支援が必要な世帯】	５件	９,０００円相当の商品券

2 単身高齢者等を対象とした歳末見守り訪問事業 【地域福祉活動配分】	日常的な支援や見守りが必要と思われる概ね７０歳以上の単身高齢者等を対象に歳末時期に民生委員が一斉に安否確認を行いました。 ※配分審査委員会（１２月１７日）／民生委員による戸別配分（１２月２５日） ①配分世帯：８２世帯　（前年比５９件減）
3 町内の障がい者施設が行う活動への助成 新規【地域福祉活動配分】	町内の障がい者施設が年末に実施するクリスマスイベントに対して、新たに配分助成を行い、利用者の福祉向上を図りました。 ※配分審査委員会（１２月１８日） ①配分先：福祉事業所でんでん（新規）

4 要保護・準要保護認定児童激励支援事業 【地域福祉活動配分】	要保護・準要保護認定児童を対象として援助活動を強化していくことを目的として１児童につき３,０００円分の図書カードを贈りました。 ※配分審査委員会（１２月１８日）／民生委員による戸別配分（１２月２５日） ①対象児童数：　２４件　（前年比１件減）
5 ボランティアによる単身高齢者世帯への福祉年賀状作成事業 【地域福祉活動配分】	町内に居住する単身高齢者及び軽費老人ホーム（ケアハウス）入所者に対して特定非営利活動法人ほっとのメンバーが、手作り年賀状の作成に取り組みました。 ※配分審査委員会（１２月１８日） ①作成枚数：　１１５件

（５）介護福祉移動支援事業　　所管：総合福祉管理室

1 介護福祉移動支援事業
新規（飯豊町受託）

地理的な要因から通所介護サービスを受けることができない者及び腎臓機能障害により人工透析療法を受けており定期的に医療機関に通院することが必要な者等に対し、自宅から介護事業所又は医療機関等までの送迎を行なうことにより、本人の自立支援とその家族の心身の負担を軽減し、福祉の増進を図ることを目的とする事業を町からの委託を受けて実施しました。

【実施期間】令和２年８月３日～令和３年３月３１日

【提供体制】
①運転手　　２名（非常勤専従１名・非常勤兼務１名）※福祉有償運送認定ドライバー
②添乗員　　２名（移送サービス付添ボランティア）
③調整担当　１名（常勤兼務）

【実施内容】
(1) 自宅から町内の通所介護サービスを提供する事業所までの送迎
　利用（希望）者との調整のみ（実質稼働なし）
(2) 自宅から介護予防事業を実施する会場までの送迎
　サロン実施主体、ほほえみカー事業主体との配車調整（実質稼働なし）
(3) 自宅から透析を行う長井市内の医療機関までの送迎

運行経路		月別	実施日数	延べ利用人数
自宅から松下クリニックまでの往復		１１月	０日	－
		１２月	７日	６．５日
実利用者	１名	合計	７日	６．５日

（６）福祉団体が行う活動への支援　（事務局担当）　　所管：総合福祉管理室

項　目	内　容
1 飯豐町民生委員児童委員協議会 （会長　伊藤　佐市）	地域における身近な福祉の担い手として活躍する民生委員児童委員に対し協議会の運営並びに必要な支援と情報提供を行ってきました。 ①民生委員児童委員　　３６名　　②主任児童委員　２名
2 飯豐町老人クラブ連合会 （会長　米野　彌壽男）	高齢者が健康づくり活動や友愛活動を通して心豊かな地域社会の実現を目指し、老人クラブ活動の充実を図るために必要な支援と情報提供を行ってきました。 ①単位老人クラブ数　　１１クラブ ②会員数　　５６３名（前年同月比　２名増）　※３月３１日現在
3 飯豐町ゲートボール連合会 （会長　髙橋　忠雄）	町内のゲートボール競技団体に対し必要な支援を行ってきました。大会プログラム等の作成を会員が担うようになったことで事務の負担は軽減しています。 ①支部数　６支部　　※３月３１日現在
4 飯豐町身体障がい者福祉協会 （会長　舟山　貞夫）	身体に障がいをもつ方による自立更生のための当事者組織として活発な社会参加活動が推進できるよう必要な支援と情報提供を行ってきました。 ①手帳所持者４７３名　②会員数　７６名（前年同月比７名減）※3月31日現在
5 飯豐町戦没者慰霊祭実行委員会 （会長　木村　勝男）	戦没者の方々の御霊を慰めるため、遺族会が中心となって挙行する慰霊祭の事務を担ってきました。 ①実行委員会（８月２５日）　②戦没者慰霊祭（９月２５日）
6 飯豐町共同募金委員会 （会長　伊藤　榮造）	共同募金に係る執行業務及び募金管理事務を県共同募金会の指導をもとに行ってきました。 ①運営委員会（６月　５日）　②配分審査委員会（１２月１７日）

7 飯豐町社会福祉法人連絡会 （会長　伊藤　榮造）	社会福祉法人が持つ専門性を活かし、情報の共有、連携及び協働を図り、地域の課題解決に取り組むことを目的とした連絡会の事務局を担いました。 ①設立総会（１１月１２日）　②担当者会　（３月　８日）
8 飯豐町椿地区公共施設防災対策協議会	周辺の公共施設における災害発生時の連係を確認し合うとともに利用者の安全を確保するために必要な検討を行ってきました。 ①隣接施設からの火災を想定した合同防災訓練を実施（10月21日/椿地区あ～す近郊）

５ 介護保険及び障がい福祉サービスに関する事業【介護拠点】
（介護サービス及び介護予防サービス、地域支援事業等）

（１）高齢者介護予防事業　　所管：総合福祉管理室・ふれあい介護支援室

1 地域介護予防事業
（飯豊町受託）

□事業概要：高齢者の要介護状態になることの予防又は要介護状態等の軽減もしくは悪化の防止を目的として、中津川地区の 65 歳以上の者を対象に行う「ゆうゆうクラブ」事業について飯豊町から委託を受けて行いました。
①運営体制：　サポーター数　９名　／ 送迎ボランティア　１１名
②実利用者：　　３８人(前年比５人減)
③実施回数　：　７９回（前年比２４回減）
④延利用者数：５７８人　（前年比１４２人減）

地区名	会場	活動回数	実利用者	延べ利用者	1回平均
川内戸ゆうゆう	ひまわり館	20 回	5 人	89 人	4.5 人
中部・小屋ゆうゆう	ひまわり館	19 回	16 人	214 人	11.3 人
白川ゆうゆう	ひまわり館	20 回	8 人	128 人	6.4 人
岩倉ゆうゆう	岩倉公民館	20 回	9 人	147 人	7.4 人
合　計		79 回	38 人	578 人	7.3 人

４～５月の全回、３月の１回については新型コロナウィルス感染拡大の影響により活動中止

2 らくらく筋トレ事業
（飯豊町受託）

□事業概要：町の地域支援事業及び健康いいで２１に基づき、高齢社会における生活自立度の向上と健康寿命の延伸を基本目標に、常時指導員を配置し、トレーニングマシン等を使用した筋トレ有酸素運動等の提供及び指導を飯豊町から委託を受けて行いました。

2年度の目標	①新型コロナウイルスの感染防止対策を徹底し、安心して利用できる環境づくりを進めます。 ②個別データ管理及びトレーニング結果の評価などを可能にする新機能を追加し、サービスの向上を図ります。
結果と評価	①新型コロナウィルス感染症の拡大防止ため、４．５月の２ヶ月間に加えて、３月下旬にも受け入れを休止しました。 ②マスク着用や消毒の徹底、利用人数の制限対応等を行い、安心して利用してもらえるための空間づくりを重点的に行いました。 ③利用率は前年度の６割程度に留まり、利用控えによる影響から、登録している方の継続利用が滞った状態になっています。
主な課題	①新型コロナウィルス感染予防について今後も事前予約制を採用し、三密回避に努めます。 ②介護予防運動指導員は、介護職員と兼任配置となっているため介護人材不足の影響から、新しい指導員の養成が必要となっています。 ③新規登録者の継続利用や登録者への再利用につながるフォローを行っていきます。

□らくらく筋トレ教室の事業業績

①年間延利用者数	目標／　３,０００人	実績／　１,６９２人
②年間新規登録	目標／　５０人	実績／　８人

【参考】利用者の状況　（件）

項　目	29年度	30年度	31（元）年度	2年度
①年度内新規登録（登録者数）	26人(４０６人)	17人(４２３人)	46人(124人)	8人（132人）

②延べ利用者数	2,715人	2,166人	3,104人	1,692人
③稼働日数	205日	180日	268日	235日
④1日当たり平均利用者	13.2人	12.0人	11.6人	7.2人

4～5月の全日、3月の6日間については新型コロナウィルス感染拡大の影響により活動中止

（2）生活支援体制整備事業　　所管：総合福祉管理室

項　目	内　容
1 地域支え合い推進員配置事業（飯豊町受託）	日常生活上の支援が必要になっても住み慣れた地域で安心して、生きがいをもって暮らすことのできる地域づくりを目指しながら、「住民が主体」となった支え合い活動の取り組みを推進してきました。 【主な業務内容】 ①居場所運営支援（いっぷぐあが家３３回・みんなこ家１６回） ②生活支援コーディネーターの資質向上に関する研修会への参加（１０回） ③「あしすと第４号」の発行（５月） ④生活困窮者自立支援事業 支援調整会議への参加（４回） ⑤飯豊町ライフステージサポート体制推進会議への参加（２回） ⑥「多機関連携のための相談支援機関必携ハンドブック」の編集協力 ⑦「飯豊町介護福祉移動支援事業」に関する情報収集 ⑧単身高齢者のための会食サービス事業への参加（７回）

（3）居宅介護支援事業【ケアマネジメント】　　所管：地域生活支援室・医療健康室

項　目	内　容
1 居宅介護支援事業 （介護保険指定居宅介護支援事業者） 【対象：要介護１～５】	□事業概要：要介護者及び要支援者が、必要な介護サービスを適切に利用し、できる限り自立した生活が行えるようケアマネジャーが本人及び家族の意向や心身の状況、環境等を勘案してケアプランを作成し、サービス事業者と連絡調整等を行います。この内、要支援者（予防給付対象者）に対し「介護予防サービス計画」を作成する業務は飯豊町地域包括支援センターから委託を受けて行っています。

［料金関係］03.3現在

区分	料　金
要介護1・2	14,570円/月
要介護3～5	17,730円/月

※特定事業所加算（Ⅱ）4,000円含
（注）初回加算3,000円別途

2年度の目標	多機関連携を強化し、自立支援や望む生活の実現に向けて協働していきます。
結果と評価	①請求件数は、過去5年で最も少なく1,250件を下回り、月あたりの件数は平均して104件となりました。 ②ケアマネジャー1名あたりの請求数は、月平均で26件、業務効率推進は足踏みすることとなりましたが、家族介護支援事業の実務担当により多機関との連携強化に結びついています。
主な課題（今後の方針等）	①引き続き関係機関との連携を強め、信頼関係を維持する中で顧客確保を図っていきます。 ②事務処理等の間接業務の効率化を引き続き模索します。

2 介護予防ケアマネジメント業務（第1号介護予防支援事業）
（飯豊町地域包括支援センター受託）

【対象：要支援１及び２】

［対象者］要支援１及び２
［単価］月額4,310円
（初回＋3,000円）
※住宅改修支援＋2,000円

□利用状況／業績：※詳細の実績数値については資料編参照

(1)居宅介護支援事業

①年間延利用者数	８６０人（前年比６７人減）	
②月平均利用者数	目標／　８５人	実績／　７１.７人
③収入額	１３,４９４千円（前年比１,１２０千円減）	
④実利用者数	４１人※令和３年３月現在（前年比２８人減）	

(2)介護予防支援事業の受託

①年間延利用者数	３８９人（前年比２５人減）	
②月平均利用者数	目標／　３２人	実績／　３２.４人
③収入額	１,７１０千円（前年比１４１千円減）	
④実利用者数	２４人※令和３年３月現在（前年比１１人減）	

【参考】ケアプラン及び予防プラン作成件数　（件）

項　目	28年度	29年度	30年度	31（元）年度	2年度
介　護	1,066	1,014	996	927	860
予　防	221	261	285	414	389
合　計	1,287	1,275	1,281	1,341	1,249

3 家族介護支援事業 （飯豊町受託）	町からの委託を受けて、家庭介護者の相談及び介護に関する知識、技術の習得のための教室を５回実施しました。

(1) 家族介護教室事業

期日・場所（参加した介護者）	内　容
令和２年　８月２５日 町健康福祉センター（6名）	「我が家流！今日をいい日にする暮らしのレシピ」 講師：一般社団法人ゆにしあ　管理栄養士
令和２年１０月２７日 町健康福祉センター（6名）	「自宅で簡単に出来る介護者向け体操講座」 講師：社会福祉協議会　介護予防運動指導員
令和２年１２月　５日 いいで旅館（11名）	「自分らしく介護していくためのメンタルヘルス」 講師：コーチングメンタルヘルス研修presenttime
令和３年　１月２２日 健康福祉センター（4名）	「活動量や運動機能の維持に向けた在宅トレーニング」 講師：介護老人保健施設　作業療法士
令和３年　２月２２日 町健康福祉センター（13名）	「認知症に関する教養講座」 講師：置賜総合病院認知症看護認定看護師

(2) 家族介護者交流事業
新型コロナウイルス感染症の感染予防のため実施しませんでした。

（4）居宅介護等事業【ホームヘルプ】　　所管：地域生活支援室・医療健康室

項　目	内　容
1 訪問介護事業 （介護保険指定居宅サービス事業者） 【対象：要介護１～５】 営業時間：7:00～21:00 ※12月29日～1月3日は休み	□事業概要：介護福祉士等の専門資格を有するホームヘルパーが介護の必要な人の自宅を訪問し、排泄、入浴介助等の身体介護や調理、掃除等の生活援助サービスを提供します。家族介護をカバーし、利用者本人の自立をできる限り支援することで、利用者及び家族の家庭生活を支えるとともに、介護に限らない利用者周辺の生活課題を「つかみ」、課題解決へ「つなぐ」ことにより、利用世帯の地域生活を支援していくことが目的です。

［料金関係］02.3現在
特定事業所加算（Ⅱ）含み
［基本料金１０％］

区分	身体介護	加算関係
２０分～３０分未満	2,490円	早朝（6～8時）夜間（18～22時）25％加算 初回加算2000円 緊急時訪問1,000円 処遇改善加算13.7％（訪問型13.7％） 特定処遇改善加算4.2％（訪問型4.2％）
３０分～６０分未満	3,950円	
６０分～９０分未満	5,770円	
９０分～（３０分単位）	830円	

2年度の目標	①ご利用者様とご家族様の人権とプライバシーを尊重し笑顔と思いやりを持って真心の介護を提供します。 ②経営基盤を安定させ介護サービスの継続性を保持し、地域の信頼と期待に応えられるように努めます。 ③教育を継続し、意識の向上を図るとともに、必要な能力の開発・維持に努めます。
結果と評価	①介護保険サービスの他、訪問型サービスA、障害福祉の支援依頼も積極的に受け入れ、幅広いニーズに対応するように努めました。 ②ご利用者様の状態変化やニーズ変化をいち早く察知して、サービス内容変更のアドバイス等に努めたことにより、大きな変化なく日常生活を送っていただくことができました。 ③同一事業所内でのご利用者様に関する情報共有に心がけ、同じ視点を持ち一体的なサービス提供ができました。 ④事業所以外の関係機関への情報提供、連携を積極的に実施し、月ごとに所内の連携状況の把握を行いました。
主な課題（今後の方針等）	①全職員の所定労働時間に対する稼働時間を積み上げし、平均稼働率を指標とすることで、経営改善に努めていくことが事業所としての課題となります。

2 訪問型サービス（介護予防訪問介護相当サービス）事業
（飯豊町介護予防・日常生活支援総合事業第１号事業者指定）
【対象：要支援１及び２】
営業時間：8:00～17:00
※12月29日～1月3日は休み
［料金関係］03.3現在

区分	月額
週１回程度	１１,７２０円
週２回程度	２３,４２０円
週３回程度	３７,１５０円

□利用状況／業績：※詳細の実績数値については資料編参照

①年間延提供回数（訪問型含）	３,６２８回（前年比　２１３回増）	
②月平均利用人数（訪問型含）	目標／　２４０人	実績／　３０２.３人
③年間延提供時間（訪問型含）	２,２６８時間４０分（前年比６３時間２１分増）	
④収入額（訪問型サービス含）介護報酬+利用者負担金	１２,１９１千円（前年比　３４７千円減）	
⑤実利用者数（訪問型含）	２０人※令和３年３月現在（前年比　１０人減）	
⑥総合事業比率（利用者）	全体の　１０.４％（前年比４.３％減）	

【参考】訪問介護サービス提供時間数　（時間）

項　　目	28 年度	29 年度	30 年度	31（元）年度	2 年度
介護・予防計	3,524	2,734	2,172	2,205	2,268

3 訪問自費介護サービス

営業:7:00～21:00※12 月 29 日～1 月 3 日は休み
［料金］※早朝・夜間割増有
30 分以上 45 分未満 1,800 円
45 分以上 60 分未満 2,400 円

介護保険制度の対象にならないサービス需要に対応するため利用者との契約行為により外出支援、通院介助を中心とした介護サービスを提供してきました。

□利用状況／業績：※詳細の実績数値については資料編参照

①年間延提供回数	８２回（前年比 ３１回減）	
②年間延提供時間数	１１６時間３０分（前年比 １２７時間４９分減）	
③収入額	３０６千円（前年比 １５９千円減）	
④月平均利用人数	目標／　５人	実績／　５.２人

4 居宅介護（ホームヘルプ）事業

（障害者総合支援法指定障害福祉サービス事業者）

［対象者］身体、知的、精神障がい者及び障がい児
［営業日］月～金曜/7:00～21:00　※12 月 29 日～1 月 3 日を除く

障がいがあっても可能な限り自立して生活を営むことができるよう本人にとって必要な介護及びそれに付随する生活援助を提供しました。

□利用状況／業績：※詳細の実績数値については資料編参照

①年間延提供回数	６７７回（前年比 １０２回増）		
②年間延提供時間数	家事援助	２２１．５時間（前年比 １５８.５時間減）	
	身体介助	２９３．５時間（前年比 １４１.５時間増）	
③収入額（給付費）	２,６６６千円（前年比　６２０千円増）		
④延利用回数（月平均）	目標／　４７回	実績／　５６回	

5 福祉有償運送サービス事業

［対象者］
要介護者及び障がい者等
［料金］300 円～km 数毎設定
［営業日］月～金曜/8:30～17:15※12 月 29 日～1 月 3 日を除く

単独で公共交通機関を利用することが困難な移動制約者の通院等の交通手段を確保するための福祉有償運送は、２月に３年に１度の登録更新が行われました。対象は、マンパワーの問題等から主に現社協・介護サービス利用者に限定した提供となっています。

□利用状況

①年間運送回数	１２４回（前年比５１回減）
②対価収入	９８千円（前年比５８千円減）
③対価キロ	１,０１４km（前年比２８３km 減）
④会員（運送対象者）数	１１人※令和3年3月現在(前年比３人減)

（５－①）通所介護事業【デイサービス】　所管：ふれあい介護支援室・医療健康室

項　　目	内　　容

1 地域密着型通所介護事業（介護保険指定地域密着型サービス事業者）及び通所型サービス（介護予防通所介護相当サービス）事業（飯豊町介護予防・日常生活支援総合事業第１号事業者指定）

営業日：日曜・年始5日を除く日
定員 ：18名
提供時間原則9：00～16：30
［料金関係］03.3現在

区分	月　　額
要支援１	１６,５５０円
要支援２	３３,９３０円

区　分	所要時間 7～8 時間／日
要介護１	７,３９０円
要介護２	８,７３０円
要介護３	１０,１２０円
要介護４	１１,５００円
要介護５	１２,８８０円

［加算（減算）料金］
①入浴介助加算　50 円（回）
②中重度者ケア体制加算 45 円（回）
③個別機能訓練加算Ⅰ 46 円（回）
④サービス提供加算Ⅱ 6 円（回）
（支援 1/24 円　支援 2/48 円）
⑤送迎減算（片道）　-47 円（回）
⑥介護職員処遇改善加算 5.9%
⑦介護職員等特定処遇改善加算 1.2%

□事業概要：要介護者及び要支援者を自宅まで送迎し、昼食、入浴、機能訓練及びレクリエーション等日中のサービスを提供します。家族介護者の負担軽減のみならず、利用者本人が日中を有意義に過ごすことで、デイサービス利用時間に関わらず、自宅における生活機能やＱＯＬを維持向上させることが目的です。なお、町内において通所介護（デイサービス）を提供している事業所の中で、認知症対応のサービスを提供しているところは本事業所のみとなります。

２年度の目標	①「バランスのとれたチームづくり」を目標とし、ご利用者やご家族の皆様が地域で安心して過ごしていただけるよう取り組みます。 ②全体で行う体操やリハビリ運動に加え、大きな声で歌う楽しさも実感していただけるよう、個々に合ったレクリエーションの提供に努めます。 ③環境衛生面において、感染症対策の重要性を認識し、感染症を未然に防げるようにします。 ④介護支援専門員へ担当のご利用者様の様子を適宜連絡し、積極的に連携を図ります。
結果と評価	①新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、感染防止対策として４月８日から２０日までの１０日間について受け入れ休止としました。なお、休業措置を実施したことにより減少した分の事業収入については、飯豊町より通所介護事業所休業支援事業補助金をいただき経営基盤の安定化を図りました。 ②新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、感染防止対策として必要な資材を山形県新型コロナウィルス感染症緊急包括支援交付金を活用して整備を行いました。 ③新型コロナウィルス感染症予防について、職員の意識向上が図られるよう安全衛生委員会を軸に、しっかりとした対策をとってきました。 ④指定地域密着型通所介護における運営推進会議を年２回開催しました。（令和２年１０月２０日・令和３年３月２４日） ⑤レクリエーションや余暇活動については、新型コロナウィルス感染症予防のため、密になるようなものは導入を控えました。

2 認知症対応型通所介護事業（介護保険指定地域密着型サービス事業者）及び介護予防認知症対応型通所介護事業（介護保険指定地域密着型介護予防サービス事業者）

営業日：日曜・年始5日を除く日
定員 ：12名
提供時間：原則9：00～16：30
［料金関係］03.3現在

区分	所要時間 7～8 時間／日
要支援１	８,５６０円
要支援２	９,５６０円

区分	所要時間 7～8 時間／日
要介護１	９,８９０円
要介護２	１０,９７０円
要介護３	１２,０４０円
要介護４	１３,１２０円
要介護５	１４,２００円

①入浴介助加算　50 円（回）
②サービス提供加算Ⅱ 6 円（回）
（支援 1/24 円　支援 2/48 円）
③送迎減算（片道）　-47 円（回）
④介護職員処遇改善加算 10.4%
⑤介護職員等特定処遇改善加算 3.1%

主な課題（今後の方針等）	①人員の適正数の配置や時間の使い方等を改善していきます。 ②地域全体のデイサービスニーズを捉え、事業規模の縮小化を図るべく水曜日の営業休止を軸に検討していきます。 ③事業所の特色づくりを継続的に進めていきます。

□利用状況／業績：※詳細の実績数値については資料編参照

(1) 地域密着型通所介護及び通所型サービス

①年間延利用人数(通所型サ含)	３,４４９人（前年比　９５３人減）	
②月平均利用人数(通所型サ含)	目標／　２７６人	実績／　２８７．４人
③営業日数	３０１日（前年比１０日減） ※新型コロナウイルス感染拡大防止措置のため10日間休業（4月）	
④利用率(通所型サ含)（目標59%以上）	６３.７%（前年比 １４．９%減）	
	目標／　１０.６人(日)	実績／１１.５人（日）
⑤実利用者数(通所型サ含)	４６人※令和3年3月現在（前年比３人減）	
⑥総合事業比率（利用者）	全体の　１７.４%（前年比　０.７%増）	

(2) 認知症対応型通所介護及び介護予防認知症対応型通所介護

①年間延利用人数(予防含)	２,２９３人（前年比 ４５６人減）	
②月平均利用人数(予防含)	目標／　２２９人	実績／　１９１.１人
③営業日数	３０１日（前年比１０日減） ※新型コロナウイルス感染拡大防止措置のため10日間休業（4月）	
④利用率(予防含)（目標73%以上）	６３.５%（前年比 １０.２%減）	
	目標／　８.８人(日)	実績／７.６人（日）
⑤実利用者数(予防含)	２６人※令和3年3月現在（前年比２人減）	
⑥予防比率（利用者）	全体の　１.６%（前年比　１.５%増）	

(3) 収入合計額（地域密着型＋認知症対応型）

収入額（予防給付含） 介護報酬+利用者負担金+食費+実費	６９,８８８千円(前年比 １３,６５６千円減)

【参考】通所サービス延利用人数　（人）

項　　目	28 年度	29 年度	30 年度	31（元）年度	2 年度
通所介護	4,332	4,317	4,079	4,402	3,449
認知対応	2,591	2,613	2,783	2,749	2,293
合　　計	6,923	6,930	6,862	7,151	5,742

（５－②）通所型サービスＡ事業【総合事業】　所管：総合福祉管理室

項　　目	内　　容

1 通所型サービスＡ事業（飯豊町委託）

営業日：原則金曜日
定員 ：8名
提供時間：原則10：30～14：00

□事業概要：生活機能の低下が認められる高齢者等が、通所型サービスの利用により、生きがいづくり及び健康保持を図り、社会的孤立の防止と地域における自立した日常生活を支援することを目的としています。

□利用状況

①年間延利用人数	１２２人	
②営業日数	３９日 ※4～5月の全回、3月の1回については新型コロナウィルス感染拡大の影響により活動中止	
③実利用者数	５人※令和3年3月現在	
④収入額	４２７,０００円(委託料)	７３,２００円(実　費)

（6）短期入所生活介護事業【ショートステイ】所管:ふれあい介護支援室・医療健康室

項目	内容

1 短期入所生活介護事業（介護保険指定居宅サービス事業者）

【対象：要介護１～５】
定数:20床(個室ユニット型)
全日/24時間稼働

［料金関係］03.3現在

区分	日額
要介護１	７,２５０円
要介護２	７,９２０円
要介護３	８,６６０円
要介護４	９,３３０円
要介護５	１０,０００円

［加算(減算)料金］
①送迎加算　184 円(回)
②看護体制加算Ⅱ8 円(日)
③生活サービス提供加算Ⅰ2　12円(日)
④緊急短期入所受入加算 90 円(日)
⑤長期利用者提供減算-30 円(日)
⑥介護職員処遇改善加算　8.3%
⑦介護職員等特定処遇改善加算 2.7%

□事業概要：短期入所施設にて、要介護者及び要支援者へ食事、入浴、機能訓練及びレクリエーション等のサービスを提供します。短期入所施設には、特別養護老人ホーム等と併設された併設型と本事業所の様な単独型の２種があります。
単独型の事業所は県内でも珍しく個室ユニット型による提供を行っています。

２年度の目標	①ご利用者様に喜んで頂けるようなサービスの充実を図ります。 ②介護事故は、絶対に起こさない意識を共有します。 ③職員一人一人が経営を意識し業務にあたります。
結果と評価	①新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、感染防止対策として必要な資材を山形県新型コロナウィルス感染症緊急包括支援交付金を活用して整備を行いました。 ②新型コロナウィルス感染症予防について、職員の意識向上が図られるよう安全衛生委員会を軸に、しっかりとした対策をとってきました。 ③ご利用者様にも参加いただき、定期的に季節に合ったおやつ作りの楽しい時間を設け、好評を得ることができました。 ④定期的に職員ミーティングや朝礼を開催し、ご利用者様の情報を共有したことで大きな事故を防ぐことができました。
主な課題（今後の方針等）	①ご利用者様の状態の変化に応じて適宜モニタリングを実施し計画に沿った統一したサービスを提供します。 ②夜間勤務を担う人材の確保が最大の課題です。

□利用状況／業績：※詳細の実績数値については資料編参照

①年間延利用人数(予防含)	４,７４７人（前年比　６３４人減）	
②月平均利用人数(予防含)	目標／　４２５人	実績／　３９５.６人
③営業日数	３６５日（前年比１日減）	
④収入額(予防給付含) 介護報酬+利用者負担金+食費+実費	６０,１４６千円（前年比６,４６３千円減）	
⑤利用率(予防含) （目標69.8%以上）	６５.０%（前年比８.５%減）	
	目標／１３.９人（日）	実績／　１３.０（日）
⑥実利用者数	４６人※令和３年３月現在（前年比６人減）	
⑦予防比率（利用者）	全体の６.０%（前年比　１.２%減）	

【参考】短期入所サービス延利用人数　（人）

項目	28 年度	29 年度	30 年度	31（元）年度	2 年度
介護・予防計	6,283	5,949	5,196	5,381	4,747

2 介護予防短期入所生活介護事業(介護保険指定介護予防サービス事業者)

【対象：要支援1・２】
［料金関係］03.3現在

区分	日額
要支援１	５,４５０円
要支援２	６,６２０円

3 短期入所事業(障害者総合支援法指定障害福祉サービス事業者)

施設への短期入所を必要とする障がい者の利用実績は、８月から継続的な利用がありました。

①年間延利用日(人)数	４８日　（前年比２日減）
②実利用者数	１人　（前年同数）
③収入額	２７９千円（前年比１０千円減）

4 在宅老人短期入所施設利用弾力化事業(飯豊町受託)

家庭的事情等により身体的介護又は自立生活支援が必要な要援護者の短期利用について、30、元年度は実績がありませんでしたが、２年度は、２名の利用者を受け入れました。

①実利用者数	２人
②年間延受入日数	２７日

5 日中一時支援事業（障害者総合支援法による市町村地域生活支援事業の飯豊町委託）

日中における活動の場の確保及び一時的な見守り等が必要な在宅障がい者に対し、平日の早朝の時間帯に継続して支援を行いました。

①年間延利用日(人)数	４５９日（前年比２日減）
②実利用者数	２人※令和３年３月現在
③収入額	１,０９８千円（前年比１４９千円増）

6　公益を目的とする事業【困窮者支援拠点】

（1）生活困窮者自立支援事業【西置賜地域社協共同体】　所管:総合福祉管理室

項目	内容

1 自立相談支援事業（県委託）

西置賜地域生活自立支援サブセンター
［窓口］8：30～17：15
［休日］土・日・祝日及び／12 月 29 日～1 月 3 日
［体制］相談支援員兼就労支援員（2 名配置）

生活困窮者自立支援法に基づき、生活困窮者（現に経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある者）の経済的な自立促進を図ることがこの事業の目的となります。

主として、相談対応、自立支援プランの作成及び連絡調整を行いました。新規相談件数は例年より多く１ヶ月平均して２名の相談を受け付けましたが、新型コロナウイルス感染症が直接影響するケースは、２４件中５件とそれほど多くはありませんでした。

(1) 利用件数　（過去４年比較）

相談件数	29件	30年度	31（元）年度	2年度
①新規相談件数	１２件	１７件	９件	２４件
内高齢者	６件	４件	４件	１０件
内障がいのある人	３件	３件	３件	３件
②住宅確保給付金に係る相談件数	－	－	－	１件
内支給決定件数	－	－	－	１件
③新規プラン作成	２件	１件	２件	１０件
④延べ相談件数（援助回数）	１０２件	９６件	１１７件	３８６件

(2) 支援調整会議の開催　４回
①第１回　６月２９日(新規1件・継続1件)　②第２回　９月２９日（新規１件）
③第３回１２月２２日（継続２件）　④第４回　３月２３日（継続３件）

(3) 飯豊町自立支援会議の開催　２回
①第１回　９月２９日（構成機関出席　９名・検討ケース１件）
②第２回　３月２３日（構成機関出席１０名・検討ケース２件）

7　収益を目的とする事業　【デマンド交通拠点】

（1）地域の公共交通に関する事業（デマンド交通事業）　所管:総合福祉管理室

項目	内容

1 デマンド交通事業「ほほえみカー」の運行　（飯豊町補助）

［運休日］土・日・祝日及び
8 月 13 日～16 日／12 月 29 日～1 月 5 日
［車両台数］9 人乗り車両２台
4 人乗り車両２台
［予約受付］7:30～16:00

利用料金【平成 21 年 4 月最終改正】

地区	中津川	西部白椿	中部東部	長井エリア
中津川	400 円	400 円	600 円	800 円※
西部白椿	400 円	400 円	400 円	600 円
東部中部	600 円	400 円	400 円	600 円
長井エリア	800 円※	600 円	600 円	利用不可

※印はまちなかエリアの椿乗換エリア内で乗り継ぎした場合の料金となります。
※福祉割引適用者及び小学生は各料金の半額。
※小学生未満は１名まで無料　（１歳未満児無料）
２人目から小学生同一料金

4.5 月は、新型コロナウィルス感染症の影響により、1 日あたりの利用者は 30 人台に留まり、3 月においても同様に外出自粛に伴う利用控えが見られました。ほほえみカーとしては、利用者及び運転手の安全確保を最優先に考慮し、マスクの着用協力が得られない利用者への対応をはじめ、三密回避のための人数制限について、感染拡大状況を見ながら、速やかに対処してきました。

８月下旬から３ヶ月間は、中津川橋の補修工事で全面通行止めが続いたほか、２月には雪崩危険のため、数日間、通行規制が敷かれるなど、中津川地区の高齢者にとっては、外出し難い状況が継続し、利用者の減少につながっています。

(1) 利用状況の概要　※詳細の実績数値については資料編参照

①年間延利用者数	９,９２９人（前年比４８４人減）
②１日平均利用者数	４１.６人（前年比１.９人減）
③稼働日数	２３９日（前年比１日減）

(2) 利用登録者の推移

時期	登録者数	登録者異動件数
令和2年3月31日現在	３,８４０名	新規登録 30件 削除件数123件
令和3年3月31日現在	３,７４７名	

(3) 利用促進事業の推進
①回数券の販売促進　（２７２冊/１,０９６,０００円）
②商工会無料券進呈事業との連携（４５６枚進呈/１７社）
③予約代行サービスの協力提携（通年）

④インターネット、ＦＡＸ及び書面による予約受付体制を構築
⑤ほほえみカー通信の発行（年２回）

(4) 運行委員会開催状況（定数：１５名／委員長：伊藤　榮造）

①令和２年10月23日	めざみの里観光物産館	12名出席
※新型コロナウイルス感染症予防対策のため３月の委員会を中止		

(5) 苦情処理件数　４件

受付日	苦情概要	所要措置
①令和 2年 5月18日	あおり運転の疑い	厳重注意・調査
②令和 2年 6月22日	ドライバー接客対応	厳重注意・調査
③令和 2年 5月18日	危険運転の疑い	厳重注意・調査
④令和 3年 2月26日	運転中の携帯電話の使用	厳重注意・調査

(6) 企業協賛広告募集・契約　（年間５０,０００円）

企業名	継続年	企業名	継続年
①医療法人仁陽堂外田医院	14年	②ゆり調剤薬局	14年
③協同組合ゆりスタンプ	14年	④桑島眼科医院	13年
⑤医療法人松下クリニック	13年	⑥いいでワゴー薬局	13年
⑦くのもと整形外科クリニック	9年	⑧松下歯科医院	7年
⑨NDソフトウェア株式会社	6年	⑩小笠原法律事務所	2年

8　その他

（１）関係機関との連携　　所管：総合福祉管理室

項　目	内　容
1 西置賜地方福祉連絡会議（議　長：飯豊町社協）	西置賜管内社協と連携を保ちながら当面する共通課題について研究協議を行うと共に、活動振興や経営基盤の確保について連絡調整を図ってきました。 会議・研修会名 ／ 期日（場所） ／ 出席者 ①会長並びに事務局長会議 ／ １１月５日～６日（白鷹町） ／ 会長及び局長 ②事務局長及び担当者会議 ／ ４月１６日（白鷹町） ／ 局長以下３名 ③担当者会議 ／ ２月２６日（白鷹町） ／ 担当職員 ④職員研究協議会（訪問介護事業所情報交換会） ／ １１月１７日（白鷹町） ／ 総合福祉管理室長及びサービス提供責任者
2 置賜地方社会福祉協議会連絡会	【置賜地区合同研修事業】 会議・研修会名 ／ 期日（場所） ／ 出席者 ①置賜ボランティアの輪研修会（担当:白鷹町） ／ １１月１１日（白鷹町） ／ 職員２名 ②老人クラブ連合会連絡協議会（担当:高畠町） ／ １０月６日（高畠町） ／ 会長・女性委員 ③担当者会議（担当：小国町） ／ ７月１３日（小国町） ／ 室長・担当者 ※役員・職員研修は新型コロナウィルス感染症予防のため中止
3 福祉大会及び福祉団体への協力	【福祉大会等の参加状況】 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により中止 【福祉団体研修会議随行】 ①飯豊町老人クラブ連合会役員・女性委員研修会 ／ １１月１８日 ／ 担当者 ②飯豊町身体障がい者福祉協会会員研修会 ／ １１月２５日 ／ 担当者
4 関係会議（委員会）への役職選出又は関係機関より委嘱を受けるもの	(1) 会　長 組織名 ／ 職名 ①社会福祉法人山形県社会福祉協議会 ／ 評議員 ②飯豊町共同募金委員会募金審査委員会 ／ 委員（委員長） ③ほほえみカー運行委員会 ／ 委員（委員長） ④飯豊町生活支援介護予防サービス推進協議会（健康福祉課） ／ 委員（委員長） ⑤飯豊町介護保険運営協議会（健康福祉課） ／ 委員（委員長） ⑥飯豊町民生委員推薦会（健康福祉課） ／ 委員（委員長） ⑦いいで未来サポート隊（総務企画課） ／ 会員（監　事） ⑧飯豊町障がい者差別解消支援地域協議会（健康福祉課） ／ 委　員 ⑨飯豊町障害者自立支援協議会（健康福祉課） ／ 委　員 (2) 事務局長 ①飯豊町要保護児童対策地域協議会（教育委員会） ／ 委　員 ②飯豊町地域公共交通会議　（住民税務課） ／ 委　員 ③山形県共同募金会飯豊町共同募金委員会 ／ 出納員 ④飯豊町高齢者虐待防止ネットワーク協議会（健康福祉課） ／ 委　員 ⑤会員加入促進若手増強委員会（老人クラブ連合会） ／ 委　員 (3) 施設長 ①飯豊町障害者自立支援協議会（健康福祉課） ／ 委　員 ②飯豊町介護保険運営協議会（健康福祉課） ／ 委　員 ③飯豊町地域包括支援センター運営協議会（健康福祉課） ／ 委　員 ④グループホームひめさゆり荘２号館運営推進会議（いいで福祉会） ／ 委　員 (4) 法人が加盟又は参加する機関団体・会議等 ①山形県老人福祉施設協議会 ／ 会　員 ②長井地区安全運転管理者連絡協議会（長井警察署） ／ 会　員 ③長井地区被害者支援連絡協議会（長井警察署） ／ 会　員 ④飯豊町商工会 ／ 会　員 ⑤置賜地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会 ／ 構成員 ⑥公益社団法人山形県社会福祉振興会 ／ 会　員 ⑦社会福祉法人福利厚生センター ／ 会　員 ⑧飯豊町地域ケア会議（健康福祉課） ／ 構成員 ⑨やまがた福祉移動サービスネットワーク ／ 会　員
5 町長との情報交換会の開催	福祉施策の諸問題について意見交換を実施したほか、社協・介護サービス事業経営改善計画に基づく経過と現況を説明のうえ、経営基盤の強化に向けて町からの支援の拡充を求めた。 (1) 開催日　令和２年　９月２８日 (2) 提案及び要望事項 ①新型コロナウィルス感染症に伴う休業措置に対する支援を要求。 ②短期入所生活事業の利用負担軽減対策及び施設老朽化に伴う修繕費用に対する継続補助を協議。 ③介護人材確保に向けた施策の充実及び次期介護保険事業計画への反映を要望
6 共催・後援等	(1) 共　催　１件 ①大人が変わればこどもも変わる県民運動（主催:山形県・山形県教育委員会等） (2) 名義後援　３件 ①第39回飯豊町長・町老連会長杯争奪ゲートボール大会　（主催:飯豊町老人クラブ連合会） ②第29回山形県健康福祉祭「美術展」　（主催：山形県・山形県社会福祉協議会） ③第70回山形県・県民福祉大会（主催：山形県・山形県社会福祉協議会等）

（２）共同募金運動及び歳末たすけあい運動等への協力　　所管：総合福祉管理室

項　目	内　容
1 赤い羽根共同募金運動への協力 実施時期：令和２年10月１日～12月31日（厚生労働省告示）	地域福祉の推進を図るための財源を確保し、民間福祉活動を支援するための共同募金について、住民自治組織及び関係団体の協力を得て取り組みました。なお、目標額達成のための戸別募金の目安額は１世帯７００円と設定しました。 目標額 ／ 実績額 ／ 達成率 ２,２６７,０００円（前年比７９,０００円減） ／ ２,２６８,１１４円（前年比４１,３９９円増） ／ １００％ ①戸別募金　１,３５９,７００円　②街頭募金　４１,７６２円 ③大口募金　７６８,８０３円　④学校募金　３４,７１５円 ⑤職域募金　４１,４８４円　⑥イベント募金　２１,６５０円
2 歳末たすけあい運動への協力 実施時期：令和２年11月12日～12月10日	歳末時期に地域で援助を必要としている方々を支えあうための運動として、住民自治組織及び民生委員の皆様の協力を得て取り組みました。なお、目標額達成のための戸別募金の目安額は１世帯５００円と設定しました。 配分審査委員会の開催状況／令和２年１２月１７日（町民総合センター） 目標額 ／ 実績額 ／ 達成率

1,000,000円 (前年比5,000円減)	967,000円 (前年比17,000円減)	96.7%
①戸別募金　967,000円		

（3）その他　　所管：総合福祉管理室

項目	内容
1 福祉サービスに関する苦情・事故等	事故件数は減少していますが、軽視できない内容が報告されています。内容別にみると利用者の転倒に関する事故が多く、リスクを回避するための取り組みをリスクマネジメント委員会で検討しながら施設全体で共有してきました。なお、解決に向けての話し合いが不調に終わったケースはありませんでした。

(1) 苦情・事故の発生状況

①苦情件数：２件（前年比１件減）　②事故件数：１９件（前年比５件減）

内容		地域福祉事業	介護予防	居宅介護	訪問介護	通所介護	短期入所
事故	車両に関わる事故	0		0	0	0	0
	利用者転倒、ケガ	0	0	0	0	7	8
	利用料徴収・誤請求				0	0	0
	その他	0	0	0	0	2	2
苦情	利用料等の徴収・誤請求				0	0	0
	職員態度・サービス不満	0	0	0	0	0	1
	説明・情報不足	0	0	1	0	0	0

(2) 苦情解決委員会開催状況（委員：３名／委員長：木村　勝男）

①令和　３年　３月２５日	福祉の里めざみ相談室	委員２名出席

(3) 苦情解決処理結果の公表（いただいた苦情の内容と対応の要約）

Case1 (短期入所)	ショートステイを利用中、ナースコールを押したのに誰も来てくれなかったことに不信感を持っている。
	対応：受信機がマナーモードに設定されていたことが判明し、呼び出し音が鳴らない状態であったことを説明、今後このようなことが無いように注意することを本人に伝え、納得いただいた。
Case2 (居宅介護)	体調不良を理由にデイサービスを休んでいたが、改善したので利用再開の申し出を電話で行ったが、その後、何の連絡もないということは、デイサービスには来るなということか。
	対応：電話を受けた際、担当ケアマネジャーが不在になっていたこともあり、対応が遅れてしまったことについて謝罪し、今後このようなことがないように対応していくことを伝えた。

2 役職員等による研修関係	(1) 評議員役員合同研修会　１１月１３日（評議員１２名・役員１０名） 講演「生きづらさを抱える若者の支援を考える研修会」 講師　クローバーの会@やまがた　代表　樋口愛子氏

(2) 事業主が実施する研修並びに教育

項目	期日	テーマ/ 講師
新任職員研修	９月１６日	「接遇研修」※オンライン
管理職研修	１０月２２日	「ハラスメント防止講習会」※オンライン
リーダー職員研修	２月１７日	「職場で進めるハラスメント防止対策」
全員対象研修	１１月１９日	「職場内のコミュニケーションづくり」 トータルカウンセリング・スクール講師　吉田　真氏 ※山形県社協職場内研修講師派遣事業

(3) 職員（研修委員会等）が自発的に実施する研修

新型コロナウィルス感染症の感染予防強化のため中止

3 人事考課の取り組み	人事考課制が導入４年目となり、職員の成果が適切に評価される納得性の高い運用が築かれてきました。引き続き、法人に対する貢献度の向上に資するために更に望ましい評価のあり方及びフィードバックの方法を検討していきます。

(1) 昇格・昇給等のための定期評価の結果

時期	対象期間	対象職員		平均評点
令和３年	令和２年４月１日～	１等級	８名（正規4・常臨3・非常臨1）	86.9点（B）
			５名（短臨5※厨房除く）※A表のみ	48.6点（A）
	４月	令和３年２月末日	２等級	14名（正規5・常臨4・非常臨5）	83.9点（B）
				３名（短臨3）※A表のみ	47.7点（B）
			３等級	８名（正規5）	75.9点（B）
				５名（再雇用2・準再雇用3）※A表のみ	48.6点（A）
			４等級	５名（正規5）	87.4点（A）

(2) 賞与（勤勉手当成績率）査定のための評価の結果

時期	対象期間	業績区分	総合評語
令和２年　６月	令和元年１２月１日～令和２年５月末日	事務局職員	B（全等級）
		施設職員	B（全等級）
令和２年１２月	令和２年６月１日～令和３年１１月末日	事務局職員	B（全等級）
		施設職員	B（全等級）

(3) その他

①事務局長、施設長と個々の職員との面談（９月～１１月）

4 介護職員の処遇改善	福祉・介護職員等の処遇の改善を図り人材不足の解消を進めるため、加算算定に必要な要件の整備を行い、基本給における定期昇給の財源に活用しました。

(1) 介護保険（報酬分のみ）算定状況（令和３年４月国保連審査分）

介護保険居宅サービス事業者	元年度	２年度	増減
訪問介護給付(予防含)全体報酬額	11,263,098円	10,964,149円	▲298,949円
①介護職員処遇改善加算受給額	1,467,830円	1,393,700円	▲74,130円
②介護職員等特定処遇改善加算受給額	319,460円	429,020円	109,560円
通所介護給付(予防含)全体報酬額	70,738,412円	59,233,885円	▲11,504,527円
①介護職員処遇改善加算受給額	5,649,360円	4,601,580円	▲1,047,780円
②介護職員等特定処遇改善加算受給額	705,080円	1,221,290円	516,210円
短期入所介護給付(予防含)全体報酬額	48,909,681円	44,776,448円	▲4,133,233円
①介護職員処遇改善加算受給額	4,081,480円	3,719,890円	▲361,590円
②介護職員等特定処遇改善加算受給額	637,800円	1,210,160円	572,360円
合計	130,911,191円	114,974,482円	▲15,936,709円
①介護職員処遇改善加算受給額	11,198,670円	9,715,170円	▲1,483,500円
②介護職員等特定処遇改善加算受給額	1,662,340円	2,860,470円	1,198,130円

(2) 障害福祉サービス算定状況　（令和３年４月国保連審査分）

障害福祉サービス事業者	元年度	２年度	増減
自立支援介護給付費(訪問)	2,045,900円	2,576,170円	530,270円
①福祉・介護職員処遇改善加算受給額	464,260円	566,340円	102,080円
②福祉・介護職員等特定処遇改善加算受給額	未算定	未算定	0円

5 新型コロナウィルス感染症緊急包括支援交付金を活用した取り組み	新型コロナウィルス感染症への対応として緊急に必要となる感染拡大防止や職員への支援として、山形県が実施する交付金を活用して下記の通り取り組みました。

事業所名	介護慰労金	感染対策費用助成	環境整備助成	計
在宅介護支援センター	200,000円	148,000円	200,000円	548,000円
訪問介護ステーション	250,000円	534,000円	200,000円	984,000円
日帰り介護センター	1,450,000円	759,000円	400,000円	2,609,000円
短期入所生活介護センター	900,000円	880,000円	200,000円	1,980,000円
合計	2,800,000円	2,321,000円	1,000,000円	6,121,000円

6 監督官庁等が実施した検査又は調査等	山形県（所轄庁）による社会福祉法人・施設指導監査 (1) 実施日　令和２年１０月１５日 (2) 指摘事項　文書指摘　１件、口頭指摘２件
7 労働安全衛生活動の推進	職場として安全衛生活動を推進することで、労働災害の防止を図り、職員一人ひとりが安心して働ける職場環境の実現と職員が心身ともに健康で継続して勤務できるように努めてきました。 (1) 健康診断の充実(南陽健診センター)　(2) ４Ｓ・ＫＹ活動の実施(通年) (3) インフルエンザ予防接種の実施　(4) ストレスチェックの実施(11月) (5) 感染症予防対策、転倒防止対策等　(6) 安全衛生委員会の開催(12回)

8 働き方改革の推進	年次有期休暇の年５日の取得義務における適正管理及び時間外労働及び休日労働実態の常時把握に努めながら、同一労働、同一賃金の制度適用に伴う準備を行いました。

(1)時間外労働（休日労働）抑制のための把握状況

室　別（管理職は適用除外）		月平均残業時間（平日+休日）	残業数最大月	月平均休日労働日数
組　織　全　体		４５．８時間	４月	４．４日
事務職	総合福祉管理室	２７．０時間	３月	３．０日
介護職	地域生活支援室	１２．０時間	２月	０．４日
	ふれあい介護支援室	６．２時間	１１月	１．０日
	医療健康室	０．５時間	１１月	なし

（注１）延長することができる時間数（法定）１日：４時間/１月：４０時間/ 年間：３００時間
（注２）労働させることができる法定休日の日数（労使協定）　１ヶ月に２日以内

(2)年次有給休暇取得率の状況

室　別（施設長・補佐…ふれあい介護支援室）		取得率=取得日数/今期付与日数×100 正規	非正規	合計
組　織　全　体		４０．０％	５６．０％	４９．３％
事務職	総合福祉管理室	３６．６％	６６．４％	５５．３％
介護職	地域生活支援室	４４．３％	５９．３％	５１．８％
	ふれあい介護支援室	４３．５％	５３．３％	５０．０％
	医療健康室	３５．６％	－	３５．６％

(3) 同一労働同一賃金の対応
①非正規職員対象制度説明会（２月１０日）②社会保険労務士ヒアリング（３月　２日）
③正規職員対象制度説明会（３月　４日）

9 職員採用及び正２規転換	昨年度に引き続き介護部門における臨時職員を対象とした正規転換試験を設定し、臨時職員の意欲の向上や組織の活性化を目指してきました。 (1) 令和３年４月登用予定／介護職員正規転換審査 （受付期間：１月１３日～２６日）　申込なし
10 その他	(1) 経営マネジメント・財務会計に関する指導（5月/7月/10月/2月：さくら総合会計事務所） (2) 社会福祉功労者の表彰（会長感謝状）　山口いづみ氏　田中　裕子氏 (3) 職員の自主的な資格取得に対し助成するための基金事業　１件

■施設等に対するボランティア活動、物品寄贈等の善意

受付・活動日	区　分	氏　名・団体名	内　容
令和２年４月	物品寄贈	渡　部　二　男　様（萩　生）	オムツ・衣類
令和２年５月	物品寄贈	後　藤　静　子　様（　椿　）	オムツ
令和２年５月	ボランティア	白椿地区民生委員児童委員の皆様	施設花植え作業
令和２年５月	物品寄贈	匿　名　希　望　様（黒　沢）	電動ベッド
令和２年５月	物品寄贈	渡　部　二　男　様（萩　生）	オムツ・衣類
令和２年６月	物品寄贈	長　沼　浩　志　様（　椿　）	ハンドソープ
令和２年６月	物品寄贈	古　山　正　人　様（黒　沢）	衣類
令和２年７月	物品寄贈	匿　名　希　望　様（萩　生）	衣類
令和２年７月	物品寄贈	粕　川　ケイ子　様（萩　生）	タオル
令和２年７月	物品寄贈	渡　邉　忠　雄　様（小白川）	ベッド・車椅子
令和２年10月	物品寄贈	匿　名　希　望　様（　中　）	タオル
令和２年10月	物品寄贈	匿　名　希　望　様（　椿　）	オムツ
令和２年10月	物品寄贈	佐　原　一　治　様（小白川）	オムツ
令和２年10月	施設慰問	飯豊町わくわくこども園の皆様	利用者激励
令和２年11月	物品寄贈	匿　名　希　望　様（　中　）	石鹸
令和２年12月	物品寄贈	手　塚　き　ゑ　様（黒　沢）	
令和２年12月	ボランティア	特定非営利活動法人ほっとの皆様	年賀状作成
令和２年12月	物品寄贈	下椿いきいきクラブの皆様	門松
令和２年12月	年賀状寄贈	山形県立長井高等学校２年生の皆様	利用者・職員へ激励の年賀状

令和３年１月	物品寄贈	坂　本　美知子様（　椿　）	シルバーカー

■新型コロナウィルス感染症拡大防止のための物品寄贈等の善意

期　日	寄付者	内　容	使いみち
令和２年４月	匿　名　希　望　様（米沢市）	サージカルマスク（1000）	【町内７施設へ】
令和２年５月	梅　津　民　子　様（手ノ子）	サージカルマスク（500）	施設保健衛生
令和２年５月	木　村　榮　子　様（萩　生）	手作りマスク（77）	【町内教育施設へ】
令和２年５月	匿名にて郵送（消印：花巻市）	手作りマスク（7）	施設保健衛生
令和２年５月	中　村　仁　一　様（添　川）	サージカルマスク（100）	施設保健衛生
令和２年５月	渡　部　澄　子　様（　中　）	手作りマスク（10）	【NPO ほっとへ】
令和２年５月	梅　津　清　子　様（萩　生）	手づくりマスク作成用生地	ボランティアへ提供
令和２年６月	飯　島　茂　子　様（岩　倉）	手作りマスク(112)・材料	【町内教育施設へ】
令和２年６月	匿　名　希　望　様（高　峰）	手作りマスク(11)	【町内保育施設へ】
令和２年６月	飯　島　茂　子　様（岩　倉）	手作りマスク(71)・材料	【町内保育施設へ】
令和２年６月	佐　野　熱　子　様（　椿　）	手作りマスク(11)・材料	【町内保育施設へ】
令和２年６月	匿　名　希　望　様（小白川）	手作りマスク(30)	【町内保育施設へ】
令和２年６月	木村　榮子・後藤　和子様（萩生）	手作りマスク(80)	【生活困窮世帯へ】
令和２年６月	後　藤　信　子　様（松　原）	手作りマスク(40)	施設保健衛生
令和２年６月	長　沼　浩　志　様（　椿　）	サージカルマスク(2)	施設保健衛生
令和２年６月	粕　川　ケイ子　様（萩　生）	手作りマスク(50)	施設保健衛生
令和２年６月	伊　藤　浩一郎　様（中津川）	サージカルマスク(4)	施設保健衛生
令和２年７月	匿　名　希　望　様（手ノ子）	手作りマスク(6)	施設保健衛生

■社会福祉に関する表彰受賞関係（県段階以上）

民生委員関係	令和２年秋の叙勲【瑞宝単光章】 菅野　誠一 氏（　中　） 厚生労働大臣特別表彰【民生委員児童委員功労者】 小関　惠子 氏（手ノ子）　伊藤　一則 氏（萩　生）　伊藤キミ子 氏（　椿　） 全国民生委員児童委員協議会長表彰【民生委員児童委員功労者（20年表彰）】寒河江秀憲 氏（高 峰） 山形県知事社会福祉功労者表彰【民生委員児童委員功労】伊藤　佐市 氏（　椿　） 上田　太 氏（　椿　）　舟山　嘉藏 氏（小白川）　細谷　芳弘 氏（　中　）
老人福祉関係	山形県知事老人福祉功労者感謝状【老人クラブ育成功労】 屋嶋　俊一 氏（萩　生）　手塚　晴夫 氏（萩　生） 山形県老人クラブ連合会会長表彰【老人クラブ育成指導功労者】 中善寺善三 氏（中津川）　米野キヨ子 氏（萩　生）
社会福祉従事者（役職員）関係	山形県知事社会福祉功労者表彰【社会福祉事業従事者】　田中　裕子　（本会職員） 山形県・県民福祉大会会長表彰【一般社会福祉事業関係功労】 二瓶たず子 氏（いいで福祉会）　宇佐美しう子 氏（いいで福祉会）　須藤たみ子 氏（いいで福祉会） 手塚　真弓 氏（いいで福祉会）　手塚　栄作（本会職員）

令和 3年　3月　末日現在

社会福祉法人飯豊町社会福祉協議会
理事・監事名簿

任期　令和元年６月２１日から就任後２年以内に終了する会計年度のうち
最終のものに関する定時評議員会終結の時まで
（令和３年４月以降に開催される定時評議員会の終結時）

理事：　定数／9名以上11名以内：現数（総数）　10名

No.	役職	選出区分	氏　　名	当初就任年月日	職　　業
1	会長	第１号	伊　藤　榮　造	H. 26年　4月21日	無職
2	副会長	第２号	菅　野　誠　一	H. 11年12月22日	農業
3	副会長	第１号	嶋　貫　吉　晴	H. 25年　5月30日	地方公務員（特別職）
4	常務理事	第１号	渡　部　忠　善	R.　2年　6月25日	地方公務員
5	理事	第１号	竹　田　　經	H. 20年　4月21日	無職
6	理事	第１号	鈴　木　廣　志	H. 29年　6月15日	会社役員
7	理事	第１号	髙　橋　礼　子	H. 29年　6月15日	無職
8	理事	第２号	片　桐　天　山	H. 28年　4月21日	宗教法人役員
9	理事	第２号	伊　藤　キミ子	R. 元年　6月21日	農業
10	理事	第２号	佐　藤　艶　子	H. 29年　6月15日	農業

【理事の選出区分】次の各号の定めるところにより選任する。
(1) 社会福祉事業の経営に関する識見を有する者　5名以上6名以内
(2) 当該社会福祉法人が行う事業の区域における福祉に関する実情に通じている者　4名以上5名以内

監事：　定数／2名：現数（総数）2名

No.	役職	選任要件	氏　　名	当初就任年月日	職　　業
1	監事	第２号	須　貝　周　一	H. 23年12月22日	税理士
2	監事	第１号	舟　山　直　志	H. 29年　6月15日	社会福祉法人役員

【監事の選任要件】監事には、次に掲げる者が含まれなければならない。（法第44条第5項関係）
(1) 社会福祉事業について識見を有する者　1名
(2) 財務管理について識見を有する者　1名

令和 3年 3月末日現在

社会福祉法人飯豊町社会福祉協議会
評議員　名簿

定数　１０名以上１５名以内　：現数（総数）１３名

任期　平成２９年４月１日から就任後４年以内に終了する会計年度のうち
最終のものに関する定時評議員会終結の時まで
（令和３年４月以降に開催される定時評議員会の終結時）

1　住民自治組織の団体　　現数５名

No.	氏　　名	当初就任年月日	選出区分/団体等
1	横　山　利　一	H. 26年　5月30日	中部地区の住民代表として推薦のあった者
2	長　沼　良　治	H. 29年　4月　1日	白椿地区の住民代表として推薦のあった者
3	加　藤　富　夫	H. 29年　4月　1日	東部地区の住民代表として推薦のあった者
4	山　口　　健	H. 14年　4月10日	西部地区の住民代表として推薦のあった者
5	渡　部　みゑ子	H. 29年　4月　1日	中津川地区の住民代表として推薦のあった者

2　民生委員児童委員協議会　　現数２名

6	伊　藤　佐　市	H. 29年　4月　1日	飯豊町民生委員児童委員協議会の代表
7	山　口　明　美	H. 30年　5月24日	飯豊町民生委員児童委員協議会の代表

3　公私社会福祉保健衛生施設及び団体並びに社会福祉関係行政機関　　現数２名

8	米　野　彌壽男	H. 29年10月11日	飯豊町老人クラブ連合会の代表
9	熊　野　昌　昭	H. 28年　4月10日	飯豊町教育委員会の代表

4　住民福祉活動の奉仕者又はその代表者並びに学識経験者　　現数４名

10	那　須　絹　子	H. 26年　4月10日	飯豊町婦人会の代表
11	井　上　慶　次	H. 28年　4月10日	米沢人権擁護委員協議会常務委員会の代表
12	後　藤　信　子	H. 24年　4月10日	飯豊町分区赤十字奉仕団の代表
13	五十嵐　節　子	H. 29年　4月　1日	学識経験を有する者

【選出区分の解説】評議員・役員選任規程により定数を規定
第１号　住民自治組織の団体　　≪５名以内≫
第２号　民生委員児童委員協議会　　≪１名以上２名以内≫
第３号　公私社会福祉保健衛生施設及び団体並びに社会福祉関係行政機関　≪２名以上３名以内≫
第４号　住民福祉活動の奉仕者又はその代表者並びに学識経験者　　≪２名以上５名以内≫

令和2年度居宅介護支援（ケアマネジメント）事業実績報告書

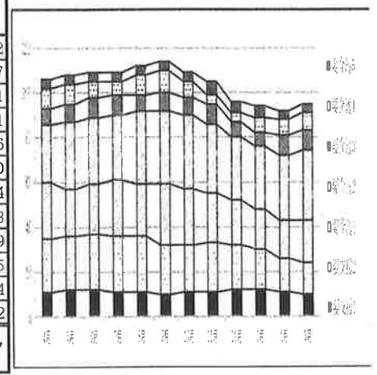
在宅介護支援センター福祉の里めざみ

1、要介護度別利用者数

①年間新規契約件数：48件（内予防8件）　②R3.3現在契約者数：65名※予防除

月区別	介護予防【受託】		介護保険					合計(件)※予防除	前年度比較
	要支1	要支2	要介1	要介2	要介3	要介4	要介5		
報酬単価	4,310		14,570		17,730				
4月	11	24	25	26	7	9	4	71	-12
5月	12	24	21	30	8	9	4	72	-7
6月	12	25	22	30	9	7	4	72	-11
7月	11	25	25	29	9	6	4	73	-11
8月	11	25	23	33	7	9	4	76	-6
9月	10	22	27	33	8	10	4	82	0
10月	11	21	25	33	8	7	4	77	4
11月	11	22	22	31	9	4	6	72	-8
12月	12	20	20	28	7	4	5	64	-9
1月	12	18	18	28	6	7	5	64	-5
2月	11	15	17	29	9	7	4	66	-4
3月	10	14	19	31	9	8	4	71	2
合計	**134**	**255**	**264**	**361**	**96**	**87**	**52**	**860**	**-67**
構成割合			30.7%	42.0%	11.2%	10.1%	6.0%	100.0%	

介護保険サービス利用者数の推移(要介護度別)



(注1)報酬単価＝特定事業所加算Ⅱ4,000円を含む。(注2)初回加算別途（3,000円別途）　住宅改修支援業務を行った場合（2,000円別途）

【利用者の平均介護度の推移】

（要支援を除く各介護度の延べ人数に１～５を乗じ、加算したものを年間延べ利用者数で除する）

令和２年度	2.19	平成31(元)年度	2.14

令和2年度短期入所生活介護（ショートステイ）事業実績報告書

短期入所生活介護センター福祉の里めざみ

1、要介護度別利用者数

①R3.3現在契約者数：46名※予防含

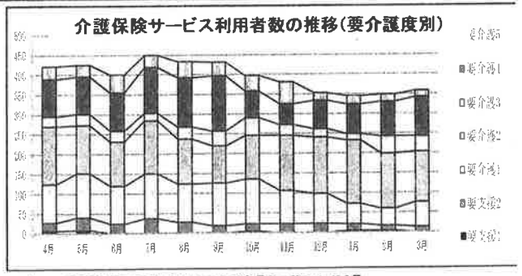
月区別	介護予防		介護保険					合計(日)	月定員（日数×20名）	当年度利用率	前年度比較
	要支1	要支2	要介1	要介2	要介3	要介4	要介5				
報酬単価	5,450	6,620	7,250	7,920	8,660	9,330	10,000				
4月	6	21	97	145	27	93	33	422	600	70.3%	-6.8%
5月	8	32	111	122	29	94	29	425	620	68.5%	-1.0%
6月	0	24	95	112	28	96	45	400	600	66.7%	-15.3%
7月	0	36	114	134	20	114	31	449	620	72.4%	4.5%
8月	0	27	97	113	31	124	41	433	620	69.8%	-6.9%
9月	0	18	108	94	36	141	35	432	600	72.0%	-10.7%
10月	2	20	114	110	44	68	39	397	620	64.0%	-9.2%
11月	0	22	85	139	27	54	55	382	600	63.7%	-14.2%
12月	0	22	77	141	21	73	20	354	620	57.1%	-19.2%
1月	3	17	52	160	17	75	22	346	620	55.8%	-12.1%
2月	3	12	44	140	43	89	18	349	560	62.3%	-4.6%
3月	0	12	64	127	39	100	16	358	620	57.7%	-6.6%
合計	**22**	**263**	**1,058**	**1,537**	**362**	**1,121**	**384**	**4,747**	**7,300**	**65.0%**	**-8.5%**
構成割合	0.5%	5.5%	22.3%	32.4%	7.6%	23.6%	8.1%	100.0%			

【利用者の平均介護度の推移】

（要支援を含む各介護度の延べ人数に１～５（要支援1＝0.375/要支援2＝1）を乗じ、加算したものを年間延べ利用者数で除する）

令和２年度	2.51	平成31(元)年度	2.65

介護保険サービス利用者数の推移(要介護度別)



2、在宅老人短期入所施設利用弾力化事業【町受託】

月区別	対象人数	日数	月区別	対象人数	日数
12月	1	4	3月	1	23

①対象者2名　②年間延べ利用日数27日

4、障がい福祉サービス利用実績【短期入所】

月区別	対象人数	日数	月区別	対象人数	日数
4月	1	4	10月	1	4
5月	1	4	11月	1	4
6月	1	4	12月	1	4
7月	1	4	1月	1	4
8月	1	4	2月	1	4
9月	1	4	3月	1	4

①対象者1名　②年間延べ利用日数48日

5、日中一時支援事業利用実績【短期入所】

月区別	対象人数	日数	月区別	対象人数	日数
4月	2	38	10月	2	43
5月	2	28	11月	2	37
6月	2	44	12月	2	40
7月	2	40	1月	2	38
8月	2	35	2月	2	34
9月	2	36	3月	2	44

①対象者2名　②年間延べ利用日数457日

令和2年度居宅介護等（ホームヘルプ）事業実績報告書

訪問介護ステーション福祉の里めざみ

1、要介護度別利用者数

①年間新規契約件数：　20件　/ 契約解除数：　29件　②R3.3現在契約者数：20名※予防含

月区別	利用者実人数	総合事業		介護保険給付					合計(回)	給付時間(時間／分)	1回あたり給付時間	給付時間前年対比
		要支1	要支2	要介1	要介2	要介3	要介4	要介5				
4月	27	8	32	25	20	44	58	56	243	**154:24:00**	0:38:07	- 19:06:00
5月	26	8	32	33	25	33	71	51	253	**170:39:00**	0:40:28	- 30:20:00
6月	27	9	25	60	41	38	86	57	316	**212:41:00**	0:40:23	19:35:00
7月	28	5	26	61	82	28	104	60	366	**231:52:00**	0:38:01	18:09:00
8月	26	8	23	67	71	17	105	54	345	**208:36:00**	0:36:17	26:30:00
9月	26	7	29	75	57	32	106	58	364	**222:24:00**	0:36:40	16:52:00
10月	25	8	27	85	50	26	86	58	340	**215:16:00**	0:37:59	- 5:47:00
11月	21	6	27	69	39	21	54	52	268	**163:30:00**	0:36:36	- 14:44:00
12月	21	6	24	58	40	37	49	51	265	**166:30:00**	0:37:42	0:56:00
1月	22	4	25	69	30	42	51	48	269	**172:24:00**	0:38:27	18:24:00
2月	23	6	12	66	22	38	81	51	276	**161:20:00**	0:35:04	22:29:00
3月	20	4	14	86	34	13	114	58	323	**189:04:00**	0:35:07	10:23:00
合計	**292**	**79**	**296**	**754**	**511**	**369**	**965**	**654**	**3,628**	**2268:40:00**	0:37:31 (前年38:45)	63:21:00
構成割合		2.2%	8.2%	20.8%	14.1%	10.2%	26.6%	18.0%	100%			

（注）給付時間＝　総合事業給付＋介護保険給付

【利用者の平均介護度の推移】

（要支援を含む各介護度の延べ人数に１～５（要支援1＝0.375/要支援2＝1）を乗じ、加算したものを年間延べ利用者数で除する）

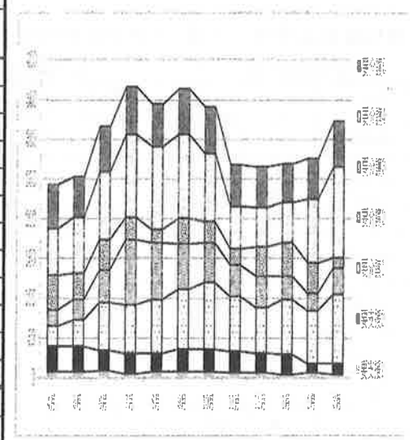
令和2年度	2.85	平成31(元)年度	2.59

2、障がい福祉サービス利用実績【居宅介護、重度訪問】

①対象者：6名(R3.3現在)　②家事　221時間30分　③身体　293時間30分

月区別	利用実数	サービス提供回数							
		家事援助（時間）			身体介助				合計
		0.5	1.0	1.5	0.5	1.0	1.5	1.5×2人	
4月	5	34	4	9	9	3	0	0	59
5月	6	17	8	8	20	0	3	3	59
6月	6	25	4	9	17	3	9	9	76
7月	6	5	5	7	21	5	9	9	61
8月	6	18	4	0	12	8	9	9	60
9月	6	19	4	0	14	12	8	8	65
10月	5	21	5	0	13	4	3	3	49
11月	4	18	4	0	12	3	0	0	37
12月	6	18	3	2	12	4	0	0	39
1月	6	18	4	0	20	5	0	0	47
2月	6	17	4	0	35	12	0	0	68
3月	6	22	4	0	24	7	0	0	57
合計	**68**	**232**	**53**	**35**	**209**	**66**	**41**	**41**	**677**
構成割合	－	34.3%	7.8%	5.2%	30.9%	9.7%	6.1%	6.1%	100%

介護保険サービス利用者数の推移(要介護度別)



3、安心生きがい訪問事業支援実績【町受託】

月区別	件数	備考	月区別	件数	備考
4月	33		10月	33	利用中止1
5月	33	新規1・介保移行1	11月	31	休止1・介保移行1
6月	31	介保移行1	12月	33	新規2
7月	32	利居再掲	1月	29	入院2・永眠1・休止1
8月	31	介保移行1	2月	27	休止1・介保移行1
9月	34	新規3	3月	29	再開1・新規1

①対象者29名(R3.3現在)　②延べ支援件数376件

（注）定期訪問　1件につき月２回／お元気コール１件につき月２回

4、訪問自費介護サービス事業実績(保険外サービス)

月区別	回数(人)	提供時間	月区別	回数(人)	提供時間
4月	6(5)	7:15:00	10月	8(7)	11:30:00
5月	5(4)	8:00:00	11月	7(4)	8:45:00
6月	6(5)	8:15:00	12月	9(5)	12:30:00
7月	10(5)	17:15:00	1月	5(6)	8:30:00
8月	7(4)	10:15:00	2月	4(5)	4:30:00
9月	7(6)	12:15:00	3月	6(6)	7:30:00

①延べ提供回数82回　②延べ提供時間数116時間30分

令和2年度通所介護（デイサービス）事業実績報告書

日帰り介護センター福祉の里めざみ

1、地域密着型通所介護・通所型サービス要介護度別利用者数

①年間新規契約件数：　32件　　／契約解除数：　35件　　②R3.3月現在契約者数：　60名

月区別	営業日数	利用者実人数	総合事業（月額）		介護保険（通所:7時間～8時間）					利用延べ人数	月定員 D（A×18名）	当年度利用率E（C/D）	前年利用率比較
			要支1	要支2	要介1	要介2	要介3	要介4	要介5				
報酬単価	(A)	(B)	16,550	33,930	7,390	8,730	10,120	11,500	12,880	(C)			
4月	16	51	12	22	40	59	15	9	5	162	288	56.3%	-25.2%
5月	26	47	19	30	59	108	18	15	11	260	468	55.6%	-32.1%
6月	26	50	21	32	62	124	31	14	13	297	468	63.5%	-27.9%
7月	27	51	12	35	79	138	30	15	20	329	486	67.7%	-21.4%
8月	26	54	13	37	44	168	33	24	15	334	468	71.4%	-7.4%
9月	26	51	14	40	60	165	27	10	15	331	468	70.7%	-12.6%
10月	27	51	18	32	64	158	23	13	14	322	486	66.3%	-13.0%
11月	25	49	17	27	56	154	19	0	11	284	450	63.1%	-12.3%
12月	27	46	14	49	40	161	24	6	6	300	486	61.7%	-6.0%
1月	24	42	6	43	31	132	20	18	4	254	432	58.8%	-11.8%
2月	24	40	3	45	36	142	20	12	6	264	432	61.1%	-8.9%
3月	27	46	12	45	38	173	18	20	6	312	486	64.2%	-3.8%
合計	**301**	**578**	**161**	**437**	**609**	**1682**	**278**	**156**	**126**	**3,449**	**5,418**	**63.7%**	**-14.9%**
構成割合			4.7%	12.7%	17.7%	48.8%	8.1%	4.5%	3.7%	100%			

※営業日数は、休業した期間を含む。

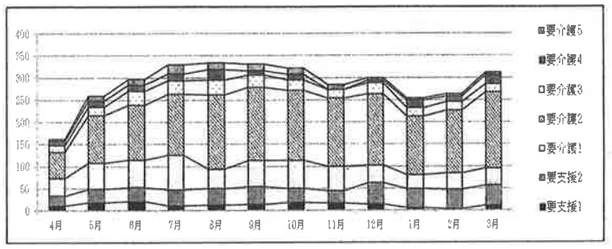
（注1）営業日数=休日：日曜日及び年始1～3日
（注2）新型コロナウィルス感染対策のための休業措置
（4月8日～20日までの期間:10営業日）

【利用者の平均介護度の推移】

（要支援を含む各介護度の延べ人数に１～５（要支援1＝0.375/要支援2＝1）を乗じ、加算したものを年間延べ利用者数で除する）

令和２年度	1.89
平成31(元)年度	1.86

介護保険サービス利用者数の推移(要介護度別)



2、認知症対応型通所介護・介護予防認知症対応型通所介護要介護度別利用者数

①年間新規契約件数：　13件　　／契約解除数：　18件　　②R3.3現在契約者数：　27名

月区別	営業日数	利用者実人数	介護予防		介護保険（通所:7時間～8時間）					利用延べ人数	月定員 D（A×12名）	当年度利用率E（C/D）	前年利用率比較
			要支1	要支2	要介1	要介2	要介3	要介4	要介5				
報酬単価	(A)	(B)	8,560	9,560	9,890	10,970	12,040	13,120	14,200	(C)			
4月	16	29	3	0	68	17	7	17	5	117	192	60.9%	-12.5%
5月	26	27	1	1	98	32	15	24	7	178	312	57.1%	-19.8%
6月	26	30	5	3	133	32	18	29	7	227	312	72.8%	-0.2%
7月	27	30	4	4	129	35	19	22	12	225	324	69.4%	-4.3%
8月	26	29	0	3	119	40	19	23	12	216	312	69.2%	4.7%
9月	26	29	0	2	99	54	25	21	13	214	312	68.6%	-8.4%
10月	27	26	0	5	93	59	22	26	14	219	324	67.6%	-1.2%
11月	25	26	0	4	83	55	23	26	9	200	300	66.7%	-3.5%
12月	27	25	0	0	90	52	12	31	12	197	324	60.8%	-12.3%
1月	24	24	0	0	68	59	10	21	12	170	288	59.0%	-16.3%
2月	24	23	0	0	61	60	8	23	1	153	288	53.1%	-23.5%
3月	27	26	0	0	83	71	7	16	0	177	324	54.6%	-27.4%
合計	**301**	**324**	**13**	**22**	**1,124**	**566**	**185**	**279**	**104**	**2,293**	**3,612**	**63.5%**	**-10.2%**
構成割合			0.6%	1.0%	49.0%	24.7%	8.1%	12.2%	4.5%	100%			

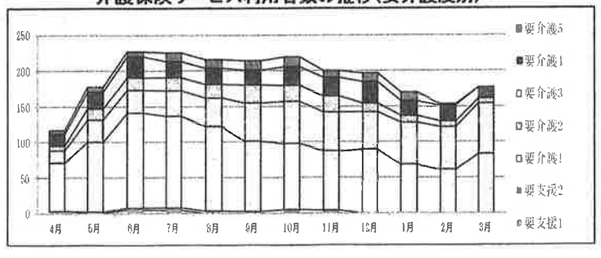
※営業日数は、休業した期間を含む。

【利用者の平均介護度の推移】

（要支援を含む各介護度の延べ人数に１～５（要支援1＝0.375/要支援2＝1）を乗じ、加算したものを年間延べ利用者数で除する）

令和２年度	1.96
平成31(元)年度	1.82

介護保険サービス利用者数の推移(要介護度別)



令和2年度飯豊町デマンド交通事業　運行実績報告書

令和2年4月1日～令和3年3月31日

① 利用状況総括表

月別	利用者計	稼働日	1日あたり平均	内 町内利用	内 町外利用
R2年　4月	747人	21日	35.6人	10.6人	24.9人
R2年　5月	664人	18日	36.9人	11.6人	25.2人
R2年　6月	905人	22日	41.1人	13.5人	27.5人
R2年　7月	887人	21日	42.2人	14.9人	27.2人
R2年　8月	821人	18日	45.6人	16.5人	29.0人
R2年　9月	888人	20日	44.4人	16.2人	28.2人
R2年10月	1,021人	22日	46.4人	16.4人	29.9人
R2年11月	821人	19日	43.2人	13.5人	26.6人
R2年12月	868人	20日	43.4人	14.0人	29.3人
R3年　1月	713人	17日	41.9人	11.3人	30.5人
R3年　2月	722人	18日	40.1人	11.2人	28.8人
R3年　3月	872人	23日	37.9人	10.3人	27.5人
合　計	9,929人	239日	41.6人	13.3人	27.9人
（前年比）	-484人	-1日	-1.9人	-2.8人	0.6人
利用者構成（全体に占める割合）				32.1%	67.1%

※　（一部）免除は障害者・生活保護世帯の構成員・小学生以下の利用。

②月別年間記録

	平均利用者数	記録月	（前年度）
月別最高平均利用者数	46.4	10月	12月
月別最低平均利用者数	35.6	4月	3月

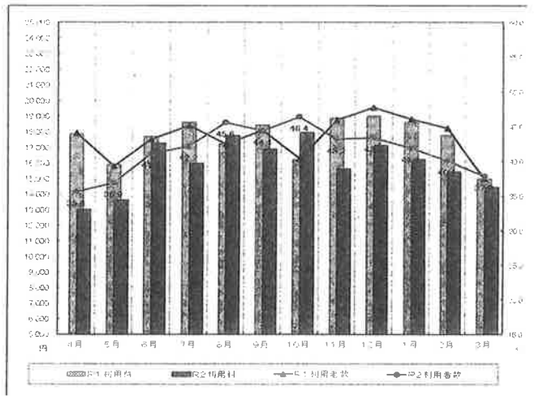
③日別年間記録

	利用者数	記録日
日別最高利用者数	62人	9月4日
日別最低利用者数	19人	5月7日

④曜日別平均利用人数

月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
43.3人	41.2人	42.3人	33.3人	47.7人
-1.2人	-3.7人	0.8人	-1.3人	-4.3人

月別1日当たりの平均利用者との平均外部売上の推移
（前年度比較）



⑤利用者の構成

	一般	小学生以下	福祉割引	合計
町内400円区	2,019人	0人	1,112人	3,131人
町内600円区	70人	2人	1人	73人
町外	2,466人	0人	4,259人	6,725人
合計	4,555人	2人	5,372人	9,929人
（前年比）	-1,391人	1人	906人	-484人

※　［中津川⇔長井市］間利用時の表記方法
①乗換利用→町内(400円区)＋町外　　②直行パターン→町外

⑥地区別登録者・利用率

地区名	人口	登録者数	（前年対比）	登録率
中	864人	490人	-7人	56.7%
萩生	1,569人	785人	-10人	50.0%
黒沢	510人	278人	-13人	54.5%
椿	1,124人	572人	-8人	50.9%
添川	960人	420人	-14人	43.8%
松原	204人	93人	-2人	45.6%
小白川	538人	323人	0人	60.0%
手ノ子	468人	307人	-3人	65.6%
高峰	301人	259人	-3人	86.0%
中津川	238人	220人	-33人	92.4%
合計	6,776人	3,747人	-93人	55.3%
（前年比）	-187人	-93人		0.2%

（注1）人口は令和３年３月３１日現在　（注2）登録者数について中津川地区に限り転出者の削除処理済み

⑦利用施設別 降車ランキング

順位	降車場所区分	人数	前年比
1	羽前椿駅	519	161
2	長井駅	442	76
3	公立置賜総合病院	420	-154
4	松下クリニック	405	72
5	公立置賜長井病院	397	-105

⑨利用施設別 乗車ランキング

順位	乗車場所区分	人数	前年比
1	公立置賜長井病院	734	97
2	公立置賜総合病院	479	-127
3	長井駅	470	57
4	松下クリニック	390	76
5	飯豊町国民健康保険診療所	228	-17